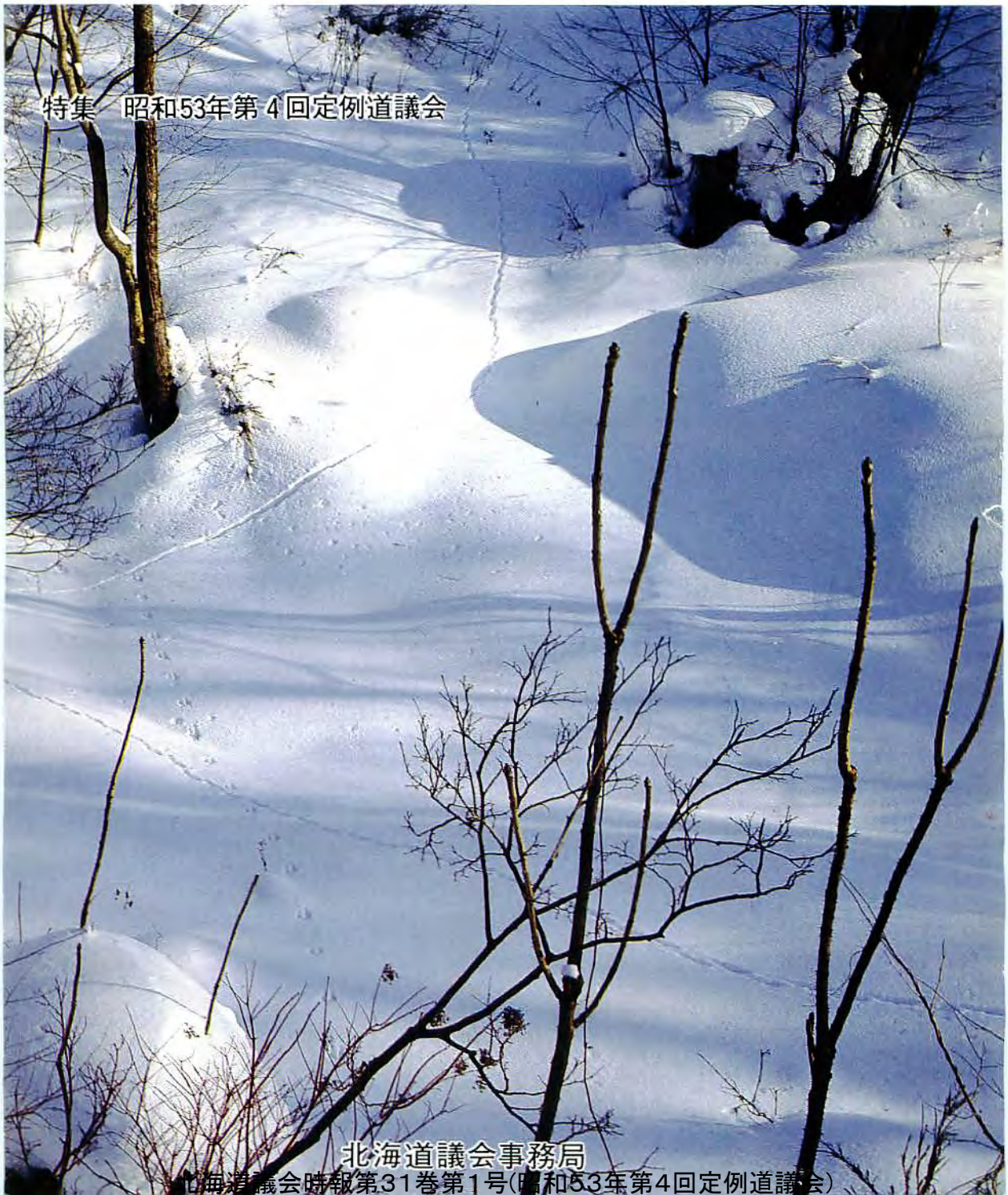
北海道議会時報

第31巻第１号



特集　昭和53年第４回定例道議会

北海道議会事務局

（表紙写真）

雪　　景　　色

（写真提供―道生活環境部自然保護課
村野　紀雄氏）

北海道議会時報第31巻第1号(昭和53年第4回定例道議会)

副議長　新　村　源　雄

就　任　の　あ　い　さ　つ

ただいまの選挙におきまして、各位の御推挙により副議長の重責を担うことになりましたことは、この上ない光栄であります。

ここに謹んでお受けいたします。

今後は、議長とともに道政の進展と議会の円滑な運営のため最善の努力を傾注し、職責を全ういたす決意でありますので、各位の格別なる御協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げまして、措辞簡単でありますが、ごあいさつといたします。

（12月12日の本会議において）

……第１号もくじ……

第４回定例道議会

概　　要…… 1
本　会　議…… 3
提出案件……12
会議案・意見案……15
請願・陳情……20

委員会の動き

議会運営委員会……25
常任委員会……30
特別委員会……36
総合開発調査特別委員会
石炭対策特別委員会
北方領土対策特別委員会
公害対策特別委員会
有珠山噴火災害対策特別委員会
資格審査特別委員会
予算特別委員会
決算特別委員会

資　　料

第４回定例道議会において議決を経た
条例の公布調……60

12月のメモ

議　会　日　誌

▶12月

1日　決算特別委員会
2日　決算特別委員会
4日　厚生委員会
6日　水産委員会、総合開発調査特別委員会、
7日　議会運営、各常任、北方領土対策特別、公害対策特別、有珠山噴火対策特別各委員会
8日　**（第4回定例会開会）**
議会運営委員会
本会議（会期決定<12日間>、提案説明決算認定）
9日　資格審査特別委員会
12日　議会運営委員会
本会議（副議長の辞職許可及び選挙、代表質問<1人>）
13日　議会運営、総務各委員会
本会議（代表質問<3人>、追加提案説明）
14日　議会運営委員会
本会議（一般質問<4人>）
15日　議会運営委員会
本会議（一般質問<2人>、意見案1件可決、予算・決算特別委員会設置）
決算特別委員会（正副委員長の互選）
予算特別委員会（正副委員長の互選、予算第1、第2分科会設置）
予算第1、第2各分科会（正副委員長の互選）
16日　予算第1、第2各分科会(各部所管審査)
18日　議会運営委員会
予算第1、第2各分科会(各部所管審査)
19日　議会運営委員会
資格審査特別委員会
予算第1、第2各分科会(各部所管審査)
本会議（会期延長）
20日　議会運営委員会
予算第1分科会（各部所管審査）
予算特別委員会（総括質疑、意見調整）
本会議（会期延長）
21日　議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、決算特別各委員会
本会議（会期延長）
22日　議会運営、総務各委員会
本会議（会期延長）
23日　議会運営、総務各委員会
本会議（各委員長報告、議案等可決、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙、意見案4件可決、意見案1件否決、会期延長）
24日　**本会議**（会議案1件可決）
（第4回定例会閉会）

第4回定例道議会

議員提案による北海道議会議員定数特例条例案可決

▶塚本副議長の辞職を許可、新副議長に新村源雄氏を選出◀

概　　要

① 有珠山災害対策等の補正予算などを審議する**第4回定例会**は、**12月8日招集**され、まず、**会期を12月19日まで12日間**と決定し、**総額266億300万円余の補正予算等32案件が上程され**、知事から提案説明を行い、前会より継続審査中の**昭和51年度各会計決算**について決算特別委員長報告の後、討論、採決の結果、**意見を付し認定議決**し、議案調査のため12月9日から12月11日まで3日間休会した。

② 休会あけの12月12日には、塚本肇副議長の辞職を許可し、直ちに**副議長の選挙**を行い、投票による選挙の結果、**新村源雄議員を副議長に選出**。ついで、**代表質問**に入り、13日には、道職員の給与改定に伴う予算等が追加提出され、知事から提案説明があり、**14日から一般質問**に入った。

15日には一般質問を終結して、予算特別委員会及び決算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会における付託議案審査のため12月16日から12月18日まで3日間休会した。

③ **代表質問及び一般質問において論議された問題**は、今後の経済見通し、道内輸出産業の再編成、54年度の予算規模、道債・債務負担行為の増高に対する所見、景気対策の取り組み方、地場工業の振興、特定不況地域の法人道民税の緩和など**経済・財政問題**。

大店法の改正と中小小売業対策、中小企業に対する金融対策、信用保証協会の運営のあり方、北海道曹達の経営危機打解策など**中小企業問題**。

雇用の創出、季節労働者・中高年齢離職者対策、積寒給付金制度の活用と適用拡大、雇用対策法の改正について国への働きかけ、新規学卒者の就職対策、公共事業の発注のあり方と雇用保険受給者の就労対策、道策会社の設立による離職者の救済策など**雇用問題**。

福祉長期計画の運用方針、養護老人ホームの整備計画・老人医療費の公費負担の拡大、成人病対策、心身障害者及び児童の福祉対策、医療に関する地域組織の育成、福祉村の建設、社会福祉センターの運営方針、生活保護世帯に対する見舞金支給の考え方など**福祉・医療問題**。

苫東石油備蓄基地の防災対策、石炭火発の将来見通し、石炭需要確保、貯炭の解消策など**エネルギー問題**。

水田再編成対策、畑作物の価格安定・消流対策、農業後継者の育成、農協に対する道の指導のあり方など**農業問題**。

日ソ漁業交渉の見通し、韓国漁船の操業による被害対策、種苗の大量生産技術の開発、サケの定置漁業の規制、密漁防止対策、さけ・ますふ化場の施設整備、魚道設置、漁業従事者の研修の充実、太平洋小型サケ・マス漁業と減トン対策など**水産問題**。

林業振興の基本的な考え方、小径木の利用開発など**林業問題**。

公営住宅の入居基準の緩和、住宅需要に対応する公営住宅の建設、老朽公営住宅の建てかえ、ナミダタケの被害と行政指導など**住宅問題**。

高校進学率と収容率、養護教育の義務化に伴う対象児童の実態把握、施設整備計画、担当教員の養成確保、教育内容の改善、訪問教育の充実、幼稚部の設置の必要性、教育長期計画について社会教育・スポーツ施設の整備、計画達成の見通し、教職員の人事異動のあり方、スキー国体の誘致など**スポーツ、教育問題**。

有珠山周辺地域の集落再編成、泥流災害の再発防止、泥流被害による中小商工業者への金融対策など

有珠山災害対策に関する問題。

凶悪事件の解決、交通事故死抑止策、運転者教育など**警察行政に関する問題。**

北方圏交流、札幌市の過密防止と都市再開発、道都圏の交通網の整備、北海道縦貫自動車道の整備促進、中核工業団地開発、道職員の勤勉手当導入に関する問題などが主にとりあげられた。

④ **予算特別委員会**は、12月15日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、16日から補正予算等に係る各部所管に対する審議に入り、20日に分科会審議を終了し、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、同日質疑を終結して直ちに意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず、起立採決の結果、知事提案をいずれも原案可決又は承認議決と決定した。

⑤ 12月19日は、予算審議などの関係から、会期延長の件を議題とし、**会期を20日まで1日間延長**した。

20日には、懸案の道議会議員の定数に係わる条例改正問題について各会派の意見調整が難航し、会期を1日間延長、翌21日、22日も話し合いはまとまらず、会期をそれぞれ1日間延長した。

⑥ 23日の深更至り、ようやく話し合いがまとまり、まず、**昭和53年度補正予算等**に対する予算特別委員長報告及び各委員会付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、知事提案をいずれも**原案可決又は承認議決。**

次に、**石狩湾新港管理組合議会議員の選挙**を議長指名により行い、「**韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見案**」**ほか3意見案を可決**の後、社会・公明・共産3党共同提出による「**一般消費税導入問題についての要望意見案**」について、採決によりこれを**否決**。ついで、自民、道政共同提出に係る「**元号法制化促進に関する要望意見案**」を討論、採決の結果、**原案可決**し、関係請願をそれぞれ委員会決定どおり採択又は不採択とし、残余の請願4件をいずれも委員会決定のとおり採択した。

次に、自民、公明両党共同提出による**会議案第1号北海道議会議員定数特例条例案**について、**提案説明の後**、議事進行の都合により、議事を中止し、**会期延長の件**を議題とし、**会期をさらに24日まで1日間延長**した。

⑦ 最終日の24日(日曜日)は、午前零時5分繰り上げ会議を行い、**会議案第1号**に対する議事を継続し、質疑、討論、採決の結果、**原案可決**。ついで、報告第2号及び前会より継続審査中の議員の資格決定要求の件について閉会中継続審査と決定のうえ、閉会中の請願・陳情審査及び事務調査の件を決定して、報告第2号及び議員の資格決定要求の件を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって開会以来17日目の12月24日午前1時22分閉会した。

⑧ **提出案件の処理状況**は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議決の状況						計
		原案可決	否決	承認議決	意見を付し認定議決	継続審査	報告のみ	
知事	46	40	—	1	(1)	1	4	46 (1)
議員	7	6	1	—	—	(1)	—	7 (1)
計	53	46	1	1	(1)	1 (1)	4	53 (2)

(注) かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数である。

本　会　議

○12月8日（金）　午後4時2分開議、佐々木豊議長、昭和53年第4回定例会の開会を宣し、引き続き

日程第1　会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2　会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から12月19日までの12日間と決定。

次に、**日程第3　議案第1号ないし第26号、報告第1号及び第2号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

次に、**日程第4　前会より継続審査の報告第1号**を議題とし、池島信吉決算特別委員長（社会）から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、川崎守議員（共産）から、報告第1号に関する反対の討論があって、採決に入り、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり意見を付し認定議決。次に、議案調査のための休会についてはかり、異議なく翌9日から11日まで3日間休会、12月12日再開することに決定し、午後4時38分散会。

決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました昭和52年第4回定例会から継続審査中の報告 第1号昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に 関する件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、昨年12月16日設置され、直ちに正・副委員長の互選を行い、同月22日には、その後の審査方法を決定するとともに、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、その後、決算内容の調査に入った次第であります。

この間、審査の必要上、80項目の資料要求を行い、理事者から資料の提出を受け、本年4月25日から総体質疑及び各部所管の審査を行い、12月2日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、総体質疑及び各部所管ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主なる事項を申し上げますと、

まず、総体質疑におきましては、

道財政運営の基本姿勢、産業振興策の成果、綱紀粛正、道行政総体における反省点及び翌年度への反映、補助金、債務負担行為等に係る基本的考え方、随意契約の許容範囲等建設工事発注に当たっての考え方、監査の基本姿勢、食糧費執行における関係資料の提出など決算にかかわる基本的問題。

公安委員会所管におきましては、

警察施設整備に係る超過負担の解消、交通事故、警察職員による事故等の防止、相談体制の強化などに関する諸問題。

生活環境部所管におきましては、

信号機等交通事故防止施設関係費の対前年比減の理由、公害防止研究所で開発の悪臭物質測定方法の内容と今後の活用策、恵庭岳滑降コース完全復元の見通し、テレビ難視聴地域の解消、物価安定対策事業の成果と物価モニター設置に伴う効果、道民生活の変化と生活指標との関連、交際費、食糧費の執行などに関する諸問題。

民生部所管におきましては、

授産施設における施策のあり方、保育所未設置市町村の解消、老人生きがい対策の理念、福祉施設整備に係る超過負担の解消、交際費、食糧費の執行などに関する諸問題。

衛生部所管におきましては、

道立病院等の地域医療対策上の役割り、無医地区解消策、保健所の役割りと整備の状況及び食品衛生監視のあり方、薬業団体に対する補助金交付の趣旨と効果、医療法人の決算審査の状況と指導の考え方などに関する諸問題。

労働部所管におきましては、

雇用対策本部の機能と成果、白ろう病等業務上疾病の発生予防の指導と防止対策、身障者雇用拡大のための職業訓練及び大企業における雇用拡大の指導、労働災害職業病研究対策センターの事業内容と成果、雇用保険金不正受給の背景と見解などに関する諸問題。

商工観光部所管におきましては、

大型店舗進出による地元小売店への影響、北海道物資流通合理化協会に対する補助の目的と効果道産品販路拡大対策、中小金属鉱山等の経営実態に対する対応策、企業倒産対策及び信用保証協会のあり方、道産原木輸出に係る見解、商工会活動

のあり方と北海道商工政治連盟との関連、食糧費、交際費の執行などに関する諸問題。

住宅都市部所管におきましては、

定期刊行物購入に係る考え方、食糧費支出命令書記載事項に対する見解、営業車使用に対する考え方、旅費執行の姿勢、工事受注業者の資格要件に係る見解、単価表及び歩掛表が販売されていることに対する見解と今後の対応策、違反建築物是正の姿勢、公営住宅の居住水準改善に対する見解、入居不振公営住宅対策及び道営住宅管理委託における市町村負担の是正などに関する諸問題。

土木部所管におきましては、

公共事業発注における道内業者育成の考え方及び前払い金に係る保証会社の実態に対する見解、定期刊行物等購入に係る考え方、建設業協会等による政治献金についての見解、競争入札における予定価格と落札価格が近いことに対する見解、食糧費について本庁と出先機関との格差是正などに関する諸問題。

林務部所管におきましては、

森林土木工事発注における中小業者の育成、製材流通安定資金の予算補正の理由と北海道木材市場協会等、団体指導の実態及び今後の指導監督方針、民有林振興の方策、林業労働災害に対する対応策、中央折衝における贈呈品の妥当性、フリッチ材の輸出規制、大規模林業圏構想と発展計画との関連などに関する諸問題。

水産部所管におきましては、

小型サケ・マス漁船の船体水増し問題における行政指導のあり方、200海里減船に伴う離職者の雇用安定、200海里問題による損失予測と新長期計画への影響、新漁場開発の見通しと調査船の増強、ホタテガイ毒性問題と開発事業の漁場環境への影響、外国漁船による漁具被害についての経過措置と今後の対策などに関する諸問題。

開発調整部所管におきましては、

道立総合経済研究所に係る諸問題、青少年科学館の建設、研究学園都市構想と高等教育整備計画との関連、北方圏交流推進委員会の性格、食糧費、交際費執行の考え方、自衛隊の演習による周辺地域への影響などに関する諸問題。

農地開発部所管におきましては、

開拓財産の管理と今後の処分計画、畑作後進地域に対する土地基盤整備事業の道費上置き措置打ち切りの理由及び負担格差に対する見解、定期刊行物等の購入についての考え方、農業近代化コンサルタントの随意契約の考え方、庁中経費執行の適正化、富良野平原地区広域営農団地農道整備事業の工事発注と指名停止処分請負業者に係る諸問題及び工事遅延による違約金徴収の実態と見解、上川支庁耕地部の職場環境に対する見解などの諸問題。

教育委員会所管におきましては、

障害児就学対策と教員配置のあり方、特殊学校における父母負担の解消、教職員の疾病における休職期間の延長、特殊学校寄宿舎の寮母の配置定数及び資格要件並びに児童死亡事故と寮母数との関連に係る見解などの諸問題。

農務部所管におきましては、

農村花嫁推進事業の効果、有機質肥料散布施設に対する助成、転作集団営農推進対策事業実施の成果、飼料穀物備蓄に係る考え方と中小規模酪農家育成の成果、農薬事故防止の指導、寒地営農技術の指導、普及および品種改良の必要性、公正取引委員会の勧告に対するその後の経過、農地行政に係る基本的考え方、農地の違反転用に係る許可等の追認措置に対する見解、道による優良種雄牛選抜事業の実施、軽種馬トレーニングセンターの設置目的と運営方法、食糧費、交際費の執行などの諸問題。

人事委員会所管におきましては、

休暇闘争事案に対する考え方。

出納局所管におきましては、

財政援助団体への補助金交付の審査及び支出時期と方法、物品購入の時期及び大量購入に対する見解。

監査委員会所管におきましては、

食糧費、交際費及び物品購入等、共通的事務費の適正な執行に対する見解。

総務部所管におきましては、

知事の私的諮問機関についての見解及び条例化等による位置づけの明確化、幹部職員の天下りの実態と一般職員に対する就職のあっせん、広報、広聴活動の実態及び広聴活動の促進、支庁における予算執行の適正化、私立高等学校の定員超過に対する指導の状況と今後の方針、食糧費、交際費執行の考え方などの諸問題。

総括質疑におきましては、

研究学園都市建設構想、知事の私的諮問機関、食糧費、交際費問題などの各般にわたり論議が交された次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして意見の調整を図りましたが、意見の一致を見るに至らず、12月2日の委員会におきまして、採決の結果、賛成者多数をもって、次に申し上げる意見、すなわち、

1. 予算の執行に当たり、計画と実行にそごを生じている実態が見受けられるので、予算の編成に際してもこの点に十分留意するとともに、今後とも予算の計画的かつ効率的な執行が確保されるよう努めるべきである。

   特に、年度末における物品購入などに適切を欠くものが見受けられるので十分注意すること。

2. 有価証券などの道有財産の管理保管は厳正に行うべきである。

3. 国庫補助事業に係る超過負担の解消については、今後とも一層の努力をし、財政の健全性の確保に努めるべきである。

4. 補助金等を交付した団体における適正な事務処理を確保するため、指導、監督に遺憾なきを期するとともに、補助金の見直し、合理化を図るべきである。

5. 建設工事の発注に当たっては、中小企業の振興と地場産業の育成の見地から、地元中小企業者の受注機会の確保についてなお一層配意するとともに、請負業者の契約履行について指導の徹底を期すべきである。

6. 中高年齢者、心身障害者、季節労働者及び寡婦に対する雇用の拡大と就職促進に一層配意するとともに、200海里水域の設定及び経済不況に伴って生じた離職者の生活安定を図るため、実態の把握と就労確保になお努力すべきである。

7. いわゆる私的諮問機関については、その設置及び運用において一層慎重を期するとともに、委員の身分について統一を図るべきである。

8. 定期刊行物等の購入については、購入紙誌及び数量の再検討を行う等により、必要最小限のものとすべきである。

9. 食糧費、交際費の執行区分を明確にするとともに、その執行に当たっては厳正を期すべきである。

10. 機関委任事務について国との機能分担を明確にするとともに、地方事務官制度の早急な廃止について国に要請すること。

以上の意見を付し、昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件は、これを認定すべきものと決定いたした次第であります。

この間、委員各位におかれましては、長期間にわたり、終始、慎重かつ御燃心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表わす次第であります。

以上をもちまして、私の報告を終わります。

○12月12日（火）　午後1時32分開議、諸般の報告（塚本肇副議長から12月12日一身上の都合による副議長辞職の申し出）の後、

日程第1　副議長辞職の件を議題とし、異議なく塚本肇氏（社会）の辞職を許可することに決定。

次に、**日程第2　副議長の選挙**に入り、議場の出入口を閉鎖の後、立会人に伊藤知則議員（自民）、青木延男議員（社会）、村本三郎議員（道政）及び牧野唯司議員(公明)を指名。選挙の方法は単記無記名投票により行うこととし、点呼に応じて投票を行い、開票の結果、投票総数71票（出席議員数と符合）、有効投票71票、有効投票中、新村源雄議員（社会）63票、石川十四夫議員（道政）8票で新村源雄議員が副議長に当選、議場の出入口を開鎖し、副議長の就任のあいさつの後、議事進行の都合により、午後2時2分休憩、午後3時20分再開し、

日程第3　議案第1号ないし第26号、報告第1号及び第2号を議題とし、**代表質問**に入り、

吉田　英治議員（社会）から、①有珠山災害対策に関し、泥流災害の再発防止と今後の対策、有珠山災害全般についての今後の取り組み姿勢について

②　経済動向と道財政問題に関し、今後の経済見通しと公共事業のあり方、道内輸出産業の再編成、農林漁業の政策転換に対する所見、道発展計画及び開発計画の見直しの考え、54年度道予算の規模、道債や債務負担の増嵩に対する見解、教育施設整備基金の積み立てのあり方と

中期財政計画策定の必要性等について

③　社会福祉に関し、道社会福祉長期計画実施についての考えと計画の運用のあり方、老人医療費公費負担の対象拡大、高齢者の就労の場の確保、精神障害者の社会復帰のための道単独事業実施の必要性、道立小児総合保健センターの退院児童の処置施設の必要性、成人病の具体的な対策等について

④　農業問題に関し、稲作転作についての受けとめ方と今後の拡大の可能性に対する所見、自主的な減反拡大についての考え方、汎用耕地化のための基盤整備事業の推進策、生産者米価及び品質格差導入に対する基本的な考え方、畑作経営に対する現状認識と畑作振興の具体的方策、豆類の価格安定、消流対策、バレイショでん粉の消流対策とシェア確保対策、加工原料乳の限度数量超過分についての対処策等について

⑤雇用問題に関し、雇用の創出と季節労働者の仕事の確保、中高年齢離職者の専門対策機関の設置の考え、積寒給付金の適用拡大、雇用対策法の改正等についての国への働きかけ、長期的雇用対策の基本的な考え方

⑥エネルギー問題に関し、苫東石油備蓄基地に係わる防災対策、住民意思の反映、苫東開発計画との関連、石炭火発建設に対する将来展望等について

⑦道職員の給与に関し、勤勉手当導入に係わる知事の所信及び人事委員会の見解等について

⑧教育問題に関し、高校進学率と収容率との関連に対する判断内容、明年度の高校の収容率、養護教育の義務化に伴う就学猶予等に係わる学校教育法の規定の削除の必要性、養護学校に幼稚部設置の考え、私学助成の充実、修学貸付金の増額、私立幼稚園に通園する障害児に対する補助の拡大等について

⑨警察行政に関し、交通事故死の抑止策、凶悪事件解決のための対策等について

質問があり、知事、人事委員長、教育長及び道警本部長から答弁。吉田英治議員（社会）から再質問があり、知事、人事委員長及び教育長から答弁。吉田英治議員から意見があって午後６時32分延会。

○12月13日（水）　午前11時50分開議、諸般の報告の後、

日程第１　議案第27号ないし第40号を議題とし、知事から提案説明の後、

日程第１に合わせ日程第２　議案第１号ないし第26号、報告第１号及び第２号を一括議題とし、**代表質問**を継続、

伊藤　知則議員（自民）から、①災害対策に関し、有珠山の泥流等に対する対策、有珠山周辺地域の安全対策、泥流被害による中小商工業者に対する金融対策、治水事業投資と今後の対策等について

②経済問題に関し、本道の景気対策の取り組み姿勢、年末年始の生活物資の確保と価格安定策、地場工業の振興指針の明示と協議、推進体制の確立、石炭需要の確保、貯炭増加に伴なう資金対策等について

③　農業問題に関し、水田再編対策に対する取り組み方、農業後継者育成のための教育、研修等の拡充等について

④　水産問題に関し、日ソ漁業交渉の見通しと基本的な考え方、本道沿岸における韓国漁船の操業による被害と漁業水域法の適用についての所見、種苗の大量生産技術の開発、サケの定置漁業の規制と密漁防止対策等について

⑤　林業問題に関し、林業振興に対する基本的な考え方、小径木の利用開発等について

⑥　福祉、医療問題に関し、福祉施策の推進にあたっての基本的な考え方、第２期福祉長計の重点項目、保健医療に関する地域組織の育成の考え方、がん対策の積極的取組み方等について

⑦　北方圏構想に関し、北方圏交流のこれまでの成果と今後の推進に対する基本的考え方について

⑧　教育問題に関し、教育長計について、社会教育、文化、体育、スポーツ施設の整備の進捗状況及び計画達成の見通し、市町村が事業主体となる施設整備計画の進捗状況と今後の施策推進についての対処策、後期計画の進め方、養護学校の義務化に伴う担当教員の養成確保、障害の多様化、重度化に対応する教育内容、方法の改善についての考え、訪問教育の位置づけと準備体制等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後１時44分休憩、午後２時59分再開、引き続

き、

浅野　俊一議員（公明）から、①有珠山噴火災害の防災対策に関し、総合的対策を講じる関係機関の確立、防災事業の抜本的見直しの考え、泥流常襲地帯の集落再編成の必要性等について

②福祉対策に関し、第2期社会福祉長計について、寝たきり老人・一人暮らしの老人の実態把握の状況、特別養護老人ホーム整備計画の妥当性と資金計画の明確化、国庫補助の大幅な増額の必要性、心身障害者の療育体系の確立と各種施策の位置づけに対する基本的な考え方、福祉村の建設状況と将来構想、社会福祉センターの事業と運営に対する考え方について

③都市対策に関し、札幌市の過密防止と再整備を図る必要性等について

④交通安全対策に関し、運転者教育の充実と運転者教育総合センターの設置についての考え

⑤教育問題に関し、養護学校の義務化に伴う施設整備計画、対象児童の把握、実態調査の結果、児童の就学先の決定における保護者の意見の尊重の考え等について

質問があり、知事、道警本部長及び教育長から答弁。浅野議員（公明）から再質問があり、知事及び道警本部長から答弁、あらかじめ会議時間を延長のうえ、引き続き

木村　喜八議員（道政）から、①有珠山災害対策に関し、防災対策と並行して観光地としての地域振興を考慮する考え等について

②特定不況地域対策に関し、特定不況地域における法人道民税の緩和を図る考えについて

③石炭対策に関し、貯炭の解消策、石炭火発に対する助成、砂川4号機の増設見通し、道東火発及び苫東厚真2号機の建設促進等について

④水産問題に関し、北海道さけ・ますふ化場施設の拡大整備、魚道設置に係わる補助制度の新設、漁業従事者の研修の充実、漁業従事者海外移住に対する今後の取り組み方等について

⑤雇用対策に関し、積寒給付金制度の周知徹底と制度の期間延長及び内容充実、新規学卒者のための学生職業センターの新設に対する考え等について

⑥住宅対策に関し、公営住宅の入居基準の緩和、住宅需要に対する公営住宅の建設に対する考え方について

⑦中核工業団地開発に関し、工業団地開発に対する基本的考え方、団地造成の早期着手、今後の見通しについて

⑧スポーツ振興に関し、35回スキー国体の誘致に対する見解について

質問があり、知事から答弁があって、午後4時54分延会。

○12月14日（木）　午前11時開議、諸般の報告の後、

日程第1　議案第1号ないし第40号、報告第1号及び第2号を議題とし、質疑並びに**一般質問**に入り、

青木　延男議員（社会）から、①雇用問題に関し、北海道曹達の経営危機について経営改善の行政指導の状況、メインバンクの北東公庫による財務状況等の調査内容、同社の今後の経営見通しと再建策、公共事業の発注に際し雇用保険受給者の雇用を条件づける考え、函館ドックの合理化による離職者の救済策、特定不況地域などに道策会社を設立する考え、解雇規制に係わる法改正を働きかける考え、擬装倒産の実態把握と労働者保護についての対策

②中小企業対策に関し、当面する中小企業振興対策についての基本的な考え方、中小企業に対する金融の円滑化、信用保証協会の保証状況とこれに対する受けとめ方、信用保証協会への損失補償金所要額算出の根拠と補正予算措置、求償権行使の弾力的な取扱い方、中小企業対策についての具体的な内容等について

質問があり、知事から答弁。青木延男議員（社会）から再質問及び再々質問があり、知事から答弁。会議規則第57条但書の規定による発言許可の後、青木議員から質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後零時33分休憩、午後1時44分再開。引き続き、

渋谷　澄夫議員（社会）から、①稲作転作に関し、今後転作拡大についての国の方針と道の受けとめ方及び対処策について

②有珠山噴火災害に関し、泥流災害について記者会見での知事発言の真意、泥流災害発生の原因と行政の責任についての所見、

③道職員の勤勉手当導入に関し、今回勤勉手当を導入することとした理由、人事委員会の主体性と勧告のあり方等について

④教育問題に関し、虻田町立みずうみ小中学校の存置についての見解、教職員の新しい人事異動方針について教職員人事の停滞の原因、教員住宅の完備、子弟の転入学について配慮等条件

整備の必要性について

質問があり、知事、人事委員長及び教育長から答弁。渋谷澄夫議員（社会）から再質問及び再々質問があり、知事、人事委員長及び教育長から答弁。ついで、

岩崎　守男議員（社会）から、①太平洋小型サケ・マス漁業に関し、水増船に対する適正方針の日ソ合意の有無、減船補償に対する見解、漁獲減等による漁家経営対策、乗組員の失業対策、漁船の適正化のあり方、裏作サンマ漁業に対する明年度の早期方針決定の努力方、減トン船の海難防止対策等について

②サケの定置漁業に関し、組合自営のあり方と適切な行政指導、協業化についての基本的な考え方等について

③道幹部職員の選挙運動についての所見、行政懇談会の目的、開催場所及び回数、主催、案内方法等について

質問があり、知事から答弁。岩崎守男議員（社会）から再質問及び再々質問があり、知事から答弁。会議規則第57条但書の規定による発言の許可の後、岩崎議員から質問、知事から答弁。ついで、

伊藤　豪議員（道政）から、①児童福祉に関し、国際児童年記念事業の積極的な取り組み方、一歳半児健康診断の内容充実、心身障害児の生きがい対策、

②医療問題に関し、結核病床のあり方と一般病床への転用に対する考え、精神障害者の医療費の公費拡大についての見解、

③交通対策に関し、道都圏の交通網の整備の取り組み方、国鉄函館本線、千歳線及び札沼線の通勤、通学区間の増強対策、道都圏高速自動車道建設の進捗状況、地下鉄の今後の計画、公共駐車場の整備、旧夕張鉄道の復活の見通し、交通網整備のための協議機関設置の必要性等について

質問があり、知事から答弁があって、午後4時25分延会。

○12月15日（金）　午前11時15分開議、諸般の報告（請願第239号の取下げ）の後、

日程第1　議案第1号ないし第40号、報告第1号及び第2号を議題とし、質疑並びに**一般質問**を継続、

工藤　啓二議員（公明）から、①住宅対策に関し、老朽公営住宅の建てかえ及び用地の高度利用の考え方、ナミダタケの被害の実態と行政指導並びに被害者に対する救済措置対策、

②大型店対策に関し、大店法改正に伴う運用に当っての知事の基本的考えと地元小売商業振興策、

③景気浮揚対策に関し、中小企業に対する景気浮揚策の具体例、

④交通網の整備に関し、旭川空港整備についての見解、

⑤高速道路の整備に関し、北海道縦貫自動車及び道北地方の幹線交通網の早期整備並びに旭川一留萌間の国道整備促進についての見解等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

本間　喜代人議員（共産）から、①知事の政治姿勢に関し、一般消費税の導入についての考え方、生活保護世帯に対する見舞金の支給、私学助成対策及び勤勉手当についての知事の見解、

②福祉、医療問題に関し、老人医療給付の家族制限をなくし所得税非課税世帯まで拡大する考えについて、

③雇用問題に関し、大企業の解雇問題及び失業者に対する雇用促進と季節労務者対策、

④農業問題に関し、農協に対する道の指導のあり方、

⑤開発問題に関し、苫東開発について地域振興整備公団に対する住宅団地の売却交渉の見通し、

⑥教育問題に関し、高校進学率を55年度までに95％にするとの見解に対する見通し、家出生徒の指導旅費の予算化、教員の定数増加対策、札幌交響楽団の地方公演に対する財政援助について、

質問があり、知事及び教育長から答弁。本間喜代人議員（共産）から再質問及び再々質問があり、知事及び教育長から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、本間議員から質問、知事から答弁があって、諸般の報告の後、質疑並びに一般質問を終結。ついで、

牧野　唯司議員（公明）から、予算及び決算に関連する案件について、31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって異議なくそのことに決定し、次の委員を議長指名（配付の名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第10号、第17号ないし第19号、第27号ないし第38号及び報告第1号は予算特別

委員会に、報告第2号は決算特別委員会に付託した。

○予算特別委員

伊藤武一（公明）　青木延男（社会）
石崎喜太郎（自民）　石山直行（自民）
岩本　允（自民）　伊藤　豪（道政）
木村喜八（道政）　大場信吾（自民）
佐藤静雄（自民）　高木繁光（自民）
寺崎政朝（自民）　岩崎守男（社会）
岡本栄太郎（社会）　工藤啓二（公明）
川崎　守（共産）　舟山広治（社会）
熊谷克治（社会）　林　勝（自民）
平野明彦（自民）　米田忠雄（自民）
伊藤知則（自民）　宇野真平（自民）
大平秀雄（自民）　小沢栄吉（自民）
東　典俊（自民）　影山　豊（社会）
小堀秀次（社会）　野中冨雄（社会）
改発治幸（社会）　田苅子政太郎（自民）
松浦義信（自民）

○決算特別委員

青木延男（社会）　北村義和（自民）
中崎昭一（自民）　工藤啓二（公明）
中田繁夫（社会）　野村権作（自民）
古川靖晃（自民）　和田勝之（自民）
岩本政光（自民）　小野秀夫（道政）
津川直一（道政）　小笠原　孝（自民）
高木正明（自民）　藤井　猛（自民）
松本　響（自民）　水沼徳一郎（自民）
吉田政一（自民）　若狭　靖（自民）
星野健三（社会）　湯本芳志（社会）
本間喜代人（共産）　高橋　鉱（公明）
砂原清治（社会）　野中冨雄（社会）
改発治幸（社会）　佐藤幹夫（自民）
深山和圀（自民）

次に、議案第21号について、異議なく総合開発調査特別委員会に付託することに決定の後、残余の案件について、議案第11号ないし第13号、第20号、第24号、第25号及び第39号は総務委員会に、議案第14号は厚生委員会に、議案第15号は商工労働委員会に、議案第16号、第26号及び第40号は文教林務委員会に、議案第22号は農務委員会に、議案第23号は建設委員会にそれぞれ付託。

次に、**日程第2　意見案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく12月16日から12月18日まで休会し、19日再開することを決定して、午後1時6分散会。

○12月19日（火）　午後4時41分開議、諸般の報告の後、

日程第1　会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を12月20日まで1日間延長することに決定して、午後4時42分散会。

○12月20日（水）　午後4時43分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ午後4時44分休憩、午後8時56分再開。諸般の報告の後、

日程第1　会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を12月21日まで1日間延長することに決定して、午後8時57分散会。

○12月21日（木）　午後4時21分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ午後4時22分休憩、午後8時51分再開。諸般の報告の後、

日程第1　会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を12月22日まで1日間延長することに決定して、午後8時53分散会。

○12月22日（金）　午後4時23分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ午後4時24分休憩、午後11時14分再開。諸般の報告の後、

日程第1　会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を12月23日まで1日間延長することに決定して、午後11時15分散会。

○12月23日（土）　午後4時20分開議、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時21分休憩、午後10時24分再開し、諸般の報告の後、

日程第1　議案第1号ないし第40号及び報告第1号を議題とし、**熊谷克治予算特別委員長（社会）**から、議案第1号ないし第10号、第17号第19号、第27号ないし第38号及び報告第1号にないしついて、**藤井猛総務委員長（自民）**から、

議案第11号ないし第13号、第20号、第24号、第25号及び第39号について、**村上彝明厚生委員長**（自民）から、議案第14号について、**影山　豊商工労働委員長**（社会）から、議案第15号について、**原　清重文教林務委員長**（社会）から、議案第16号、第26号及び第40号について、**三上勇総合開発特別委員長**（自民）から、議案第21号について、**大平秀雄農務委員長**（自民）から、議案第22号について、**小沢栄吉建設委員長**（自民）から、議案第23号について、それぞれ委員会における審査の経過及び結果について報告の後、討論に入り、岩崎守男議員（社会）から、議案第1号、第25号、第27号ないし第38号に対する反対討論、本間喜代人議員（共産）から、議案第1号、第9号、第25号及び第27号ないし第38号に対する反対討論があり、討論終結。直ちに採決に入り、まず、日程第1のうち、議案第1号、第25号及び第27号ないし第38号を問題とし、起立採決の結果、起立多数）社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第1のうち、議案第9号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。

ついで、日程第1のうち、議案第2号ないし第8号、第10号ないし第24号、第26号、第39号、第40号及び報告第1号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決又は認定議決。

次に、**日程第2　石狩湾新港管理組合議会議員の選挙**を議題とし、指名推選の方法により、異議なく議長指名により、川口常人議員（自民）野中冨雄議員（社会）伊藤豪議員（道政）及び牧野唯司議員（公明）を当選人と決定。

次に、**日程第3　意見案第2号ないし第4号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略し、直ちに採決に入り、まず意見案第3号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案可決。ついで意見案第2号及び第4号を問題とし、いずれも異議なく原案のとおり可決。

次に、**日程第4　意見案第5号**を議題とし、舟山広治議員（社会）から、提案説明の後、委員会付託を省略し、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。

次に、**日程第5　意見案第6号並びに日程第6　請願第207号及び第221号**を一括議題とし意見案第6号について委員会付託を省略、請願については、委員長報告を省略し、討論に入り、湯本芳志議員（社会）から、意見案第6号並びに請願第207号の採択についての反対討論、岩本允議員（自民）から、意見案第6号並びに請願第207号及び第221号の委員会審査結果について賛成の討論、本間喜代人議員（共産）から、意見案第6号並びに請願第207号及び第221号の委員会審査結果について反対の討論があり、直ちに採決に入り、まず日程第5意見案第6号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって原案可決。

ついで日程第6　請願第207号及び第221号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり請願第207号は採択、請願第221号は不採択と決定。

次に、**日程第7　請願審査の件**を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも委員会決定（採択4件）のとおり決定。

次に、**日程第8　会議案第1号**を議題とし、高橋賢一議員（自民）から、提案説明があり、日程第8の議事を中止し、

追加日程　会期延長の件を議願とし、会期を12月24日まで1日間延長することに決定。ついで、12月24日は休日ではあるが特に会議を開くこと、併せて開議時刻の繰上げについてはかり、異議なく、午前零時5分に繰り上げ会議を開くことに決定して、午後11時24分延会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、12月15日設置され、昭和53年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案26件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日直ちに正、副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託

した次第であります。

各分科会におきましては、同日、分科正、副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、

委員長　岡本栄太郎君
副委員長　高木繁光君

第2分科会は、

委員長　伊藤知則君
副委員長　青木延男君

を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、16日から各部所管の審査に入り、20日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、同日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、有珠山災害対策に要する経費のほか、当面措置を要する経費及び国庫支出金などの確定に伴う経費、道職員の給与改定等について所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ392億800万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き第1分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第でありますが、総括質疑の事項を申し上げますと、

私立高校の授業料助成に関する諸問題。

であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第9号及び第27号ないし第38号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、残余の案件、議案第2号ないし第8号、第10号及び第17号ないし第19号は、全会一致、原案可決、報告第1号は、承認議決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ、御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって私の報告を終わります。

○12月24日（日）　午前零時9分開議、諸般の報告の後、

日程第1　会議案第1号を議題とし、質疑に入り、

藤井　虎雄議員（社会）から、議員定数問題に係わる請願の提出者に取り下げを働きかけた事実の有無、議員定数を減員した理由、留萌支庁と宗谷支庁の議員配分を公平・合理的とする根拠、網走・上川・空知各支庁選挙区の評価と公選法第15条第7項但書適用の内容、札幌市各区の選挙区の評価と他の市、郡部の選挙区の評価との関連、公選法第15条第7項但書の立法趣旨及び適用についての要件等についての見解等について

質疑があり、高橋賢一議員（自民）から答弁。藤井虎雄議員（社会）から、再質疑及び再々質疑があり、高橋議員から答弁があって質疑終結。ついで採決により、委員会付託を省略のうえ討論に入り、

岡本栄太郎議員（社会）、伊藤豪議員（道政）及び本間喜代人議員（共産）から反対討論、工藤啓二議員（公明）から賛成討論がそれぞれあって、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（社会、道政、共産反対）をもって原案可決。

次に、報告第2号及び前会より継続審査中の議員の資格決定要求の件について異議なく決算特別委員長及び資格審査特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願・陳情審査及び事務調査の件について、異議なく各常任委員長並びに総合開発調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することに決定して、今期定例会に付託された案件は報告第2号及び前会より継続審査中の議員の資格決定要求の件を除きすべて議了。佐々木議長から閉会のあいさつがあって午前1時22分閉会。

第４回定例道議会において知事から提出のあった案件

議　　案

提出月日	番号	件　　名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 8	1	昭和53年度北海道一般会計補正予算（第５号）	予算特別	12. 23	原案可決
同	2	昭和53年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第１号）	同	同	同
同	3	昭和53年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	4	昭和53年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第１号）	同	同	同
同	5	昭和53年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計補正予算（第１号）	同	同	同
同	6	昭和53年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	7	昭和53年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第１号）	同	同	同
同	8	昭和53年度北海道有林野事業会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	9	昭和53年度北海道電気事業会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	10	昭和53年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	11	北海道教育施設整備基金条例案	総　務	同	同
同	12	職員団体の登録に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	13	北海道議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	14	北海道社会福祉総合センター条例案	厚　生	同	同
同	15	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	16	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	17	財団法人金属鉱業緊急融資基金に対する出資の件	予算特別	同	同
同	18	北海道漁業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	19	漁業共済基金に対する出資の件	同	同	同
同	20	昭和54年４月８日執行の北海道議会議員の一般選挙における公職選挙法第144条の４の規定の適用に関する件	総　務	同	同
同	21	定山渓ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	総合開発調査特別	同	同
同	22	調停に関する件	農　務	同	同
同	23	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建　設	同	同
同	24	財産の取得（土地・札幌市中央区北３条西７丁目１番地１ほか２筆）に関する件	総　務	同	同
同	25	財産の取得（土地、勇払郡厚真町字共和462番２ほか66筆）に関する件	同	同	同
同	26	船舶建造請負契約の締結（北海道立水産高等学校実習船）に関する件	文教林務	同	同
12. 13	27	昭和53年度北海道一般会計補正予算（第６号）	予算特別	同	同
同	28	昭和53年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	29	昭和53年度北海道大麻団地開発事業特別会計補正予算（第１号）	同	同	同
同	30	昭和53年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	31	昭和53年度北海道病院事業会計補正予算（第２号）	同	同	同
同	32	昭和53年度北海道有林野事業会計補正予算（第３号）	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 13	33	昭和53年度北海道電気事業会計補正予算（第３号）	予算特別	12. 23	原案可決
同	34	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	35	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	38	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	39	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	40	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同

報　告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 8	1	専決処分報告につき承認を求める件（昭和53年度北海道補正予算11月８日専決処分）	予算特別	12. 23	承認議決
同	2	昭和52年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	12. 24	継続審査
同	3	昭和52年度北海道継続費精算報告の件			報告のみ
同	4	昭和52年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			同
同	5	昭和52年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	6	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定10月31日３件、専決処分）			同

前会から継続審査中の案件

報　告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
52.12. 9	1	昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	53.12.8	意見を付し認定議決

資格決定要求の件

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
7. 26	資格決定要求の件	新村源雄君ほか26人	12. 24	継続審査

議員から提出のあった案件

会議案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 22	1	会議案第１号　北海道議会議員定数特例条例案	高橋賢一君（賛成者杉本栄一君ほか53人）	12. 24	原案可決

意　見　案

提出月日	番号	件　　名	提　　出　　者	議決月日	議事結果
12. 15	1	有珠山火山活動及び泥流災害等に関する要望意見書	高橋辰夫君ほか25人	12. 15	原案可決
12. 22	2	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書	吉田政一君ほか12人	12. 23	同
同	3	北海道の電力料金安定に関する要望意見書	影山　豊君ほか12人	同	同
同	4	スモン患者に対する治療費助成事業の負担に関する要望意見書	村上彝明君ほか９人	同	原案可決
同	5	一般消費税導入問題についての要望意見書	舟山広治君ほか32人	同	否　決
同	6	元号法制化促進に関する要望意見書	岩本　允君ほか59人	同	原案可決

会　議　案・意　見　案

会議案第１号

（高橋賢一君提出
（賛成者杉本栄一君ほか53人）
12月24日　原案可決）

北海道議会議員定数特例条例案

北海道議会議員の定数は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第90条第３項の規定に基づき、105人とする。

附　則

1.　この条例は、次の一般選挙から施行する。

2.　北海道議会議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例（昭和49年北海道条例第67号）の一部を次のように改正する。

第２条中

「空知支庁所管区域　４人　　「空知支庁所管区域　３人
を　　に、
上川支庁所管区域　４人」　　上川支庁所管区域３人」

「網走支庁所管区域　５人」を「網走支庁所管区域　４人」に、

「札幌市北区　２人」を「札幌市北区　３人」に、

「札幌市南区　１人　　「札幌市南区　２人
を　　に
札幌市西区　２人」　　札幌市西区　３人」

改める。

意見案第１号

（高橋辰夫君ほか25人提出
12月15日　原案可決）

有珠山火山活動及び泥流災害等に関する要望意見書

有珠山周辺地域は、昭和52年８月７日以降の度重なる有珠山噴火により、大量の降灰があり、その堆積土砂による二次災害のおそれがあるため、道は、降灰の除去及び泥流による災害防止のための諸事業を関係機関の協力のもとに総力を挙げて実施してきたが、最近に至り泥流災害が相次ぎ、虻田町、壮瞥町、伊達市の一部において甚大な被害を受けたところである。

また、本年に入って地殻変動が著しく、地区によって医療施設等の公共施設をはじめ、住宅等にもかなりの被害を及ぼしており、道としては、被災市町、関係機関と一体となり復旧に全力を尽しているが、今後、なお発生する泥流を防止し、地域住民の不安を解消するためには、更に、泥流防止のための諸対策を早急に実施する必要があるとともに、地殻変動による災害の復旧事業についても適切に対処する必要がある。

よって、国においては、今次災害が火山活動がなお続いている中での特殊な災害であることにかんがみ、次に掲げる事項について、早急に所要の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

一、泥流災害復旧緊急対策について

1　砂防対策事業について

(1)　地殻変動等による状況変化に対応した砂防激甚災害対策特別緊急事業の拡大強化を図られたい。

(2)　頻発する異常埋塞による既設ダムの排土に要する経費について、公共土木施設災害復旧事業費と同様の国庫補助の措置を講ぜられたい。

2　治山事業について

(1)　状況変化に対応した民有林治山激甚災害対策特別緊急事業の拡大強化を図られたい。

(2)　治山事業に係る遊砂池の堆積土砂排除について、国庫補助の措置を講ぜられたい。

(3)　国有林野における治山対策の強化を図られたい。

3　農地及び農業施設の災害復旧対策について

(1)　農地保全施設としての調整池等の設置について、災害復旧事業として採択する措置を講ぜられたい。

(2)　農地保全施設としての調整池等の堆積土砂の排除について、災害復旧事業として採択する措置を講ぜられたい。

(3)　今次災害の特殊性にかんがみ、事業実施に見合った補助金を当該年度に交付する措置を講ぜられたい。

4　都市災害堆積土砂排除事業について

泥流よる市街地の堆積土砂排除事業に要する経費について、公共土木施設災害復旧事業と同様の国庫補助の措置を講ぜられたい。

5　土捨場の確保対策について

流出する土砂等の土捨場の確保について、特段の配意を願いたい。

二、水道施設災害復旧対策について

1　浄水施設の応急復旧事業

泥流により被害を受けた浄水施設の排土に要する経費及び給水設備の応急復旧に要する経費並びに地殻変動に伴う導配水管の折損復旧に要する経費について、国庫補助の措置を講ぜられたい。

2　浄水施設の移転整備事業

恒久対策としての浄水施設の移転整備事業に要する経費について、国庫補助対象とし、公共土木施設災害復旧事業と同様の国庫補助の措置を講ぜられたい。

3　暫定的浄水装置の設置

浄水施設の移転整備が完了するまでの間の給水を確保するため、暫定的な浄水装置の設置に要する経費について、浄水施設の移転整備事業と同様の国庫補助の措置を講ぜられたい。

三　被災した公営住宅などの復旧対策について

公営住宅の復旧に要する経費及び建設について、特段の措置を講ぜられたい。

また、産業労働者住宅に係る住宅金融公庫の既貸付金について、償還猶予などの融資条件の緩和措置を講ぜられたい。

なお、雇用促進住宅の建設についても特段の配慮を願いたい。

四　公的医療機関の災害復旧対策について

北海道社会事業協会洞爺湖病院の災害復旧事業に要する経費について、国庫補助率の引き上げ等特段の措置を講ぜられたい。

五　中小商工業者等に対する融資対策について

建物等の被害及び観光客の減少によって経営に著しい影響を受けている中小工業者並

びに観光関係企業者に対して、長期、低利の設備・運転資金の融資措置を講ぜられたい。

六　温泉源の復旧対策について

当地域における温泉の重要性にかんがみ、被災した温泉源の代替掘削に要する経費について、特段の助成措置を講ぜられたい。

七　流出土砂防止対策等に関する緊急調査について

有珠山周辺地域は、その後の度重なる小噴火や地殻の変動等により山容に著しい状況の変化があるので、緊急及び恒久対策樹立のため、昨年同様国費をもって緊急に調査解析を実施されたい。

八　有珠山周辺地域振興対策について

有珠山周辺地域については、長期的視点に立った安全な町づくりを行うための地域計画を樹立し、これに基づく諸事業を速やかに実施する必要がある。

このため、活動火山対策特別措置法等を活用して、安全な町づくりのための制度の確立及び事業実施のための財政措置等について特段の配意を願いたい。

九　地方財政対策について

被災地方公共団体は、税の減免・徴収猶予等による減収に加え、災害対策のための特殊財政需要が増大し、財政運営に影響を与えることが予想される実態にあるので、特別交付税、地方債等による財源措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和　　年　　月　　日

北海道議会議長　佐々木　豊

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、農林水産大臣
通商産業大臣、労働大臣、建設大臣、自治大臣
国土庁長官、北海道開発庁長官、科学技術庁長官、
環境庁長官　各通

意見案第2号

（吉田政一君ほか12人提出
12月23日　原案可決）

韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書

北海道周辺海域における韓国漁船の操業による漁業被害問題については、これまでも再三要請を行ってまいりましたが、現在においても依然領海12海里ぎりぎりまで入り込んで操業を続けており、本道漁民は安んじて操業できないばかりでなく、大型トロール船の操業により沿岸資源の枯渇や、漁具被害が続出し、本道漁民にとっては、死活問題となっております。

道議会といたしましても、本道沿岸漁民の生活を守る立場から、沿岸漁船の安全操業と漁具被害の未然防止、韓国漁船の操業ルールの確立、被害漁民に対する救済措置の実現のため、関係業界と一体となって努力してまいりましたが、本問題解決のためには、韓国漁船に対する我が国200海里漁業水域に関する暫定措置法を早期に適用し、韓国漁船の操業を規制する以外に方法はないものと考えられますので、その速やかな実現を強く要望いたします。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和　　年　　月　　日

北海道議会議長　佐々木　豊

内閣総理大臣
農林水産大臣　各通

意見案第３号

（影山　豊君ほか12人提出
12月23日　原案可決）

北海道の電力料金安定に関する要望意見書

本道は、我が国最大の産炭地である特性を生かし、道内炭による発電を主力としており、今後ともこの方針で臨むこととしている。

最近、特に輸入燃料と道内炭との価格差が拡大していること、また、炭価引上げが予定されることなどから、電気料金の値上げについて検討を余儀なくされている実情にある。

このような事態となれば、道民生活の向上はもとより、本道産業経済の発展に重大な影響を及ぼすことが憂慮されるので、本道の電力料金の長期安定を図るため、国において、左記について特段の措置を講ずるよう要望する。

記

1. 輸入燃料と道内炭との価格差の補てん
2. 石炭火力発電所建設に対する助成
3. 政府系金融機関の特別低利融資制度の創設

右地方自治法第99条第２項の規定により提出する。

昭和　　年　　月　　日

北海道議会議長　佐々木　豊

内閣総理大臣、大蔵大臣
通商産業大臣　}各通

意見案第４号

（村上彝明君ほか９人提出
12月23日　原案可決）

スモン患者に対する治療費助成事業の負担に関する要望意見書

政府は、先にスモン患者救済のための総合的恒久対策の１つとして、はり、きゆう、マッサージに要する費用の無料化を決定した。

スモン患者に対する救済措置の必要性にかんがみ、本事業に要する経費については、ことの性格上、一般の難病対策と区分して、全額国庫負担とすべきものと考える。

よって国は、この趣旨に基づいて、早急に財源措置を講じられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第２項の規定により提出する。

昭和　　年　　月　　日

北海道議会議長　佐々木　豊

内閣総理大臣、大蔵大臣
厚生大臣　}各通

意見案第５号

（舟山広治君ほか32人提出
12月23日　否　　決）

一般消費税導入問題についての要望意見書

政府は、財政危機の打開を理由として、一般消費税の創設を計画しているが、このことは、不公平税制をより増大するものである。

しかも一般消費税のごとき間接税は、その性格において、弾力値が小さく、税制の経済安定効果を達成するのにそぐわず、逆進性、物価上昇、消費抑制作用等の諸点で好ましくないと思われる。

とくに一般消費税は、国内での商品やサービスなどあらゆる消費から税金をとることを目的としており、下に重く、上に軽い大衆課税であり物価上昇の糸口になると考える。

よって一般消費税の創設はこれを行わないよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和　　年　　月　　日

北海道議会議長　佐々木　豊

内閣総理大臣
大蔵大臣　各通

意見案第6号

（岩本　允君ほか59人提出
12月23日　原案可決）

元号法制化促進に関する要望意見書

わが国の元号は古来より国民の間に定着した日本民族の貴重な文化的伝統であり、戦後その法的根拠が曖昧なままの状態で慣習として広く国民の間に使用されています。

また、最近の各種世論調査も国民の元号の存続を強く望んでいることが明らかであります。

よって、政府においては、速やかに元号の法制化をはかるように強く要望するものであります。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和　　年　　月　　日

北海道議会議長　佐々木　豊

内閣総理大臣
総理府総務長官　各通

請　願・陳　情

① 今期定例会において各常任・特別委員会に付託された請願・陳情は次のとおりである。

請　願

文書表番号	件名	請願者	付託委員会	審査の結果
241	腎蔵病患者の通院交通費の支給に関する件	市立釧路総合病院透析室内釧路地方腎友会 会長　上田　弘	厚生	採択
242	公立高校の増設、小学区制回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	北海道教職員組合中央執行委員長 大野　直司	文教林務	継続審査
243	道議会議員定数削減の反対の件	空知管内農協組合長会 会長　林重雄ほか１人	総務	同
244	北海道議会議員郡部定数現行維持に関する件	北見市労働組合協議会内網走地方労働組合会議 議長　松田　則義	同	同
245	学費値上げをおさえ父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のための大幅な公費助成に関する件	北海道私立学校教職員組合中央執行委員長 泉　脩	文教林務	同
246	教員定数増、教育予算の大幅増等に関する件	北海道教育大学札幌分校内北海道教育大学５分校学生自治会連絡会議 議長　中川　剛	同	同
247	空知支庁所管区域の北海道議会議員定数現行維持に関する件	社会党滝川総支部会館内北空知地区労働組合協議会 議長　佐々木茂樹	総務	同
248	愛国西地区における区画整理事業の促進に関する件	釧路市愛国地区町内会連絡協議会 会長　横沢謙三ほか３人	建設	同
249	釧路市愛国地区における公共下水道の整備に関する件	釧路市愛国地区町内会連絡協議会 会長　横沢謙三ほか２人	同	同
250	道立普通高校建設に関する件	亀田郡七飯町字本町575番地七飯町長金沢精一ほか２人	文教林務	同
251	一般消費税新設反対、不公平税制是正に関する件	北海道民主商工団体連合会 会長　益井　愛人	総務	同
252	道立病院の拡充強化を求める件	自治労全北海道庁労働組合中央執行委員長　北村英人	厚生	同
253	腎臓病患者の通院交通費の支給に関する件	紋別郡遠軽町２条通北５丁目 中原　弘昌	同	採択
254	精進川旧河川敷地の払い下げに関する件	クリーンリバー中の島管理組合精進川旧河川敷地払い下げ問題対策委員会 代表　本庄　武彦	建設	継続審査

陳　情

文書表番号	件名	陳情者	付託委員会	審査の結果
34	発寒川敷地内における自動車道建設反対に関する件	西野発寒川左岸仮設自動車道反対期成会 会長　大宮　繁蔵	建設	継続審査
35	戦後ソ連地域下における強制抑留者に対する補償等に関する件	全国戦後強制抑留補償要求推進協議会　北海道連合会 会長　林　庄治郎	厚生	同

② 継続審査中のものであって、今期定例会において採否の決定があったもの。

請　願

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
57	伊達火発パイプラインを市街化区域の崎守町市街地の中央を通さないことを求める件	総務	議決不要
207	元号法化促進に関する件	同	採択
221	元号の法制化反対に関する件	同	不採択
238	北海道立文書館設置に関する件	同	採択

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
239	道立寿都病院の町立移管に対し、道立病院の拡充強化を求める件	厚生	取下げ
224	魚道設置に関する件	水産	採択

③ 更に継続審査にされるもの。

請　　願

文書表番号	件名	付託委員会
27	家庭用灯油の値上げに反対の件	総務
50	灯、重油の離島価格を解消するための緊急対策として燃料油の海上輸送運賃助成を求める件	同
56	藤野地区に警察官駐在所設置に関する件	同
70	灯、重油の離島価格を解消するための緊急対策として海上輸送運賃助成を求める件	同
121	国鉄運賃等公共料金値上げに関する件	同
134	千歳警察署庁舎建替えに関する件	同
172	積雪、寒冷地特別控除制度の新設に関する件	同
205	業者婦人の地位向上、健康と母性を守る件	同
218	道民の生活を守り、道財政の危機打開に関する件	同
220	市立名寄女子短期大学への道費助成に関する件	同
226	小規模個人運送業者（白ナンバー）の営業と生活権確保に関する件	同
227	「白トラにも営業免許を」の請願不採択の件	同
230	自家用貨物自動車の営業免許取得申請に反対の件	同
233	北海道議会議員上川郡部定数に関する件	同
234	「地方公務員の積雪寒冷地手当」の級地引上げに関する件	同
236	北海道議会議員定数に関する件	同
240	北海道議会議員定数確保に関する件	同
18	地域医療センター設置の件	厚生
35	へき地医療センター設置の件	同
46	スモン対策に関する件	同
49	家庭用灯油値上げに反対の件	同
59	インフレ、不況に伴い低所得者学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
60	インフレ、不況に伴い低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	同
127	社会保険等診療報酬の概算払いに関する件	同
136	風疹から婦人と子どもを守る対策を要求する件	同
144	道内看護学生の修学資金貸付制度改善に関する件	同
148	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同
155	道内の民間社会福祉対策改善に関する件	同
162	稚内保健所の支所設置に関する件	同
198	北海道中央市民生活協同組合の留萌進出反対の件	同

文書表番号	件名	付託委員会
201	精神障害者社会復帰訓練施設を江別保健所に設置の件	厚生
204	業者、婦人の地位向上、健康と母性を守る件	同
206	老人医療無料化制度の改善を求める件	同
215	65歳以上の老人の医療費無料化の件	同
225	道立松前病院の整備充実と松前町への移管反対に関する件	同
61	インフレ、不況に伴い低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	商工労働
100	雇用保険法改正に関する件	同
122	北海道電力の料金値上げに反対の件	同
131	中小企業事業分野確保法の制定に関する件	同
147	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同
167	季節労務者に対する雇用保険90日給付回復・関係業者の雇用安定仕事確保に関する件	同
170	季節労働者に対する地元就労事業の確保と雇用保険「90日支給」の復活に関する件	同
173	有料道路通行料の減免に関する件	同
181	競輪場誘致に反対する件	同
203	北海道大型店舗出店調整条例（または指導要綱）早期制定施行に関する件	同
71	畑作後進地域等道費補助上おき削減の復活に関する件	農務
126	伊達火発パイプライン敷設反対の件	同
202	米の第２次生産調整のおしつけに反対し地域農業の振興と農家経営の安定・自主的発展を求める件	同
209	昭和53年度水田転換面積及び事前売渡し申し込み限度数量再配分による適正化に関する件	同
216	北海道立農業大学校分校設置に関する件	同
29	市街化区域編入の件	建設
37	大型車輌の団地内通り抜け防止のための代替道路整備の件	同
38	北区新川西町内の一部を市街化区域編入の件	同
80	ペペルイ川の改修など富良野地方の治山、治水対策の推進に関する件	同
94	北区屯田地区の市街化区域編入の件	同
130	国土開発幹線自動車道の路線変更の件（外１件）	同
140	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
152	真駒内地区暖房料金の値上げ反対に関する件	同
156	札幌市東区光星地区における北海道熱供給公社の熱料金値上げ反対に関する件	同
161	道営住宅家賃の値上げをとりやめ、住宅の補修・改修と改築などの促進に関する件	同
163	道営北広島団地地域暖房料金の値上げ抑止に関する件	同
165	道営住宅家賃の大幅値上げをとりやめ、住宅の修理改築の要求に関する件	同
171	道営住宅家賃値上げ実施の延期と住宅の修繕及び環境整備の促進に関する件	同
174	北海道公営住宅家賃の是正に関する件	同
175	鳥崎川の水害防止工事に関する件	同
177	中沼団地地区の市街化区域編入に関する件	同

文書表番号	件名	付託委員会
185	道道浦河大樹線の改修に関する件	建設
214	真駒内地区の地域暖房事業の助成に関する件	同
222	地場産業の育成振興に関する件	同
228	光星地区における駐車場並びに水道料徴収に関する件	同
231	道道中央東線（室蘭市観光道路）の整備に関する件	同
235	西桔梗公園地域における生活環境向上の件	同
114	秋さけ漁業調整に関する件	水産
115	さけ刺網漁業の認可に関する件	同
212	函館市湯浜町沖さけ定置網参加に関する件	同
213	さけ定置網設置に関する件	同
7	釧路市に公立普通高校の新設、小学区制の回復（釧路市での総合選抜制）、私立高校生への授業料補助等に関する件	文教林務
19	正規の資格をもった教員希望者の全員採用に関する件	同
30	宿日直の待遇改善に関する件	同
41	標茶町に道立普通科高校設置に関する件	同
42	標茶町に公立普通科間口の新設促進に関する件	同
44	公立高校の増設、小学制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
45	小樽市における全日制公立普通高校の新増設、小学区制回復、私学への大幅助成に関する件	同
58	インフレ、不況に伴い低所得者学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
74	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
76	北海道浜益高等学校改築に関する件	同
93	非常勤講師の待遇改善に関する件	同
96	学費値上げをやめさせ、父母負担の軽減をはかり、生徒・児童にゆきとどいた教育を保障する件	同
103	稚内市における高校普通科の間口増、学校間の格差解消、私学への大幅公費助成に関する件	同
139	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
141	函館市に道立高校新設に関する件	同
145	道立普通科高校の設置に関する件	同
154	広島町立共栄小中学校の道立養護学校への移管に関する件	同
158	障害児学校寄宿舎に勤務する寮母の勤務条件の改善に関する件	同
166	北海道白糠高等学校校舎改築に関する件	同
182	公立高校の増設・小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
199	帯広盲学校教育施設設備改善などに関する件	同
210	北海道月形高等学校校舎改築に関する件	同
211	私学教育の充実のための大幅な公費助成に関する件	同
217	営林局・署廃止、機構縮小に対し道民のための国有林経営を求める件	同
219	道民の生活を守り、道財政の危機打開に関する件	同

文書表番号	件名	付託委員会
223	北海道民有林造林費の補助率引き上げに関する件	文教林務
232	北海道奈井江商業高等学校校舎改築に関する件	同
237	公立高校の増設、総合選抜制度の早期実施・私学への大幅な公費助成に関する件	同
21	大雪山ろく研究学園都市設置に関する件	総合開発調査特別
24	網走研究学園都市建設に関する件	同
31	十勝研究学園都市設置に関する件	同

陳　　情

文書表番号	件名	付託委員会
7	北海道由仁保健所庁舎改築に関する件	厚　生
28	消費生活協同組合法の一部改正に関する件	同
29	北海道中央市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	同
27	準大型店舗における小売業の事業活動の調整をはかるための道条例若しくは指導要綱の早期制定に関する件	商　工
17	ミンク養殖農家の振興に関する件	農　務
12	石山地区豊平川河川敷地における砕石場の早期移転に関する件	建　設
13	道営住宅使用料大幅値上げ反対に関する件	同
15	北海道縦貫自動車道竹浦通過路線の変更に関する件	同
16	札幌圏都市計画の見直しに関する件	同
19	新住宅市街地開発事業による大麻団地あさはた公園に関する件	同
30	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
33	精進川河川敷地の払い下げに関する件	同
21	能取漁港建設に伴う網さけ定置第２号の漁場価値激減に対する補償の件	水　産
5	早来町に道立高等学校（普通科）設置に関する件	文教林務
9	真駒内桜山の自然環境保全に関する件	同
25	札幌市南区藤野に建設予定の道立高校開校促進等に関する件	同
31	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
32	月寒、精進川流域民有林の保安林指定、保健保全林としての整備に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○12月7日（木）　午後4時50分、議会運営委員会において開議、午後4時57分散会
委員長　松浦　義信（自民）

① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

② 決算特別委員会において前会より継続審査中の報告第1号の審査終了について報告、招集日当日の本会議において議決することに決定。

③ 議案調査のため12月9日から11日まで休会することに決定。

④ 一般質問の通告は12月11日正午までとすることを了承。

⑤ 予算特別委員会の構成は31人（自民17人、社会9人、道政2人、公明2人、共産1人）委員長及び第1分科委員長は社会、第2分科委員長は自民、同副委員長、第1分科副委員長は自民、第2分科副委員長は社会とすることに決定。ついで、決算特別委員会の構成は27人（自民15人、社会7人、道政2人、公明2人、共産1人）、委員長は自民、副委員長は社会とすることに決定。委員名簿の提出は12月12日正午まで、設置動議の提出は公明とすることを了承。

○12月8日（金）　午後3時48分、議会運営委員会室において開議、午後3時49分散会
委員長　松浦　義信（自民）

○ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1　会議録署名議員の指定
諸般の報告

日程第2　会期決定の件（12月8日から12月19日まで12日間）

日程第3　議案第1号ないし第26号、報告第1号及び第2号
提出議案に関する知事の説明

日程第4　前会より継続審査の報告第1号
池島決算特別委員長の報告

（討論）

1. 川崎議員の報告第1号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 報告第1号を問題とし、委員長報告（意見を付し認定議決）のとおり決することについて、起立により採決
（共産党、反対）

議案調査のための休会日の決定
（12月9日から12月11日まで）

○12月12日（火）　午後零時39分、議会運営委員会室において開議、午後3時5分散会
委員長　松浦　義信（自民）

① 委員長から、本日付をもって塚本副議長から辞職願いの提出があった旨を報告の後、本日の本会議において辞職を許可することとし許可した場合は、副議長の選挙を行なうことをはかり異議なく決定。

② 選挙の方法は、投票により行なうこととし、単記無記名とすることをはかり、異議なく決定。立会人は、伊藤知則議員（自民）、青木延男議員（社会）、村本三郎議員（道政）、牧野唯司議員（公明）の4人とすることに決定。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることとし、本会議開会のため午後零時46分休憩。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1　副議長辞職の件

（採決）

願い出のとおり副議長の辞職を許可することについて簡易採決

日程第2　副議長の選挙

1　議場の出入口閉鎖

2　出席議員数の報告

3　立会人の指名（各会派より

1名計4名)

4　投票用紙の配付

5　投票箱の点検

6　投票用紙に氏名記載

(単記無記名)

7　議員氏名の点呼(登壇、投票)

8　立会人所定席に着席

9　開票、投票点検、立会人回付

10　立会人自席に着席

11　選挙結果の報告

12　議場の出入口開鎖

13　副議長当選の報告及び告知

14　副議長のあいさつ

(休憩)

午後2時47分再開、新村源雄副議長(社会)から就任のあいさつがあった。

④　代表質問の通告(4人)について報告、本日1人行なうことに決定。

⑤　一般質問の通告(9人)について報告の後通告の取り下げ並びに発言順位の変更について了承。

⑥　一般質問に係る順位について従来の例によることとし、議事課長から説明の後、説明のとおり取り進めることをはかり、異議なく了承。進め方について、13日2人、14日5人とすることに決定。

⑦　委員長から、石狩湾新港管理組合議会議員の定数増に伴い、知事から道議会より選出する議員4名の選挙依頼があった旨を報告、本件については人事案件であるので、従来の例により各派会長会議において取り扱われることになるので了承願う旨を述べた。

⑧　総務部長から、追加提出予定案件(職員の給与改定に係る関係議案)について説明の後、

青木　延男委員(社会)から、給与案件については従来の経過から労使合意の上で提案されるべきであり、今回まだ労使が合意に達していないということで、経過等について説明を求め、総務部長から答弁。

⑨　再開後の本会議の議事は、日程第3議案第1号ないし第26号、報告第1号及び第2号で代表質問1人を行なうことに決定。

○12月13日(水)　午前11時20分、議会運営委員会室において開議、午前11時29分散会

委員長　松浦　義信(自民)

①　総務部長から、追加提出予定案件について説明があり、本日追加提案することに決定。

②　一般質問通告の取り下げを了承の後、本日は代表質問3人、一般質問1人を行なうことをはかり、異議なく決定。

③　本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽　議事日程

(諸般の報告)

日程第1　議案第27号ないし第40号
追加提出議案に関する知事の説明

日程第2　日程第1の議案第27号ない第40号にあわせ議案第1号ないし第26号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問(4人)

○12月14日(木)　午前10時6分、議会運営委員会室において開議、午前10時10分散会

委員長　松浦　義信(自民)

①　一般質問の進め方として、明15日も本会議を開くこととし、本日4人、15日2人を行なうことをはかり、異議なく決定。

②　予算及び決算特別委員名簿について、配付の名簿のとおり一般質問終了日の本会議において指名することをはかり、異議なく決定。

③　本日の本会議の議事は、一般質問の継続で、4人とすることに決定。

○12月15日(金)　午前10時14分、議会運営委員会室において開議、午前10時29分散会

委員長　松浦　義信(自民)

①　一般質問について、本日は2人行なうことに決定。

②　意見案第1号の取り扱いについて、本日の本会議において議決することに決定。

③　予算特別委員会について、各分科会の構成は、第1分科会自民8人、社会4人、道政、

公明、共産各1人、第2分科会自民9人、社会4人、道政、公明各1人とすること、予算及び決算特別委員会の設置動議は、牧野唯司議員（公明）に提出願うことを了承。

④　議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。

⑤　各委員会付託議案審査のため、12月16日から18日まで休会し、12月19日再開することに決定。

⑥　北海道議会事例集の作成手順について、異議なく了承。

⑦　本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽　議事順序

（諸般の報告）

日程第1　議案第1号ないし第40号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問（2人）
（質疑終結宣告）
○予算及び決算特別委員会設置
○予算及び決算特別委員の指名
○議案の特別委員会付託
1.　議案第21号を総合開発調査特別委員会に付託することについて簡易採決
○残余の議案の各委員会付託

日程第2　意見案第1号
意見案第1号　有珠山火山活動及び泥流災害等に関する要望意見書
（説明及び委員会付託省略）
（採決）
1.　本件を原案のとおり決することについて簡易採決
各委員会付託議案審査のため休会の決定

○12月18日（月）　午後2時55分、議会運営委員会室において開議、午後2時56分散会
委員長　松浦　義信（自民）

○　委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。

○12月19日（火）　午後4時13分、議会運営委員会室において開議、午後4時15分散会
委員長　松浦　義信（自民）

①　委員長及び予算特別委員長から、付託議案の審議状況について報告。

②　会期延長について、1日間延長することに異議なく決定。

③　本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽　議事順序

諸般の報告

日程第1　会期延長の件

○12月20日（水）　午後4時20分、議会運営委員会室において開議、午後8時44分散会
委員長　松浦　義信（自民）

①　委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、取りあえず時間延長することに決定して、午後4時21分休憩、午後8時13分再開。

②　委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。

③　会期1日間延長について

中田　繁夫委員（社会）から、議員定数議案の決着の見通し、知事側として議案を提出できない理由、各会派の意見がまとまらない場合の措置、各会派の意向を尊重した理事者提案という会長会議の決定の解除等について質問、意見があり、議長から応答、三上副知事から答弁の後、

本間喜代人オブザーバー（共産）から、会長会議の経過について発言があって、会期を1日間延長することに異議なく決定。

○12月21日（木）　午後4時8分、議会運営委員会室において開議、午後8時44分散会
委員長　松浦　義信（自民）

①　取りあえず時間延長することに異議なく決定して、午後4時9分休憩、午後8時43分再開。

②　会期を1日間延長することをはかり、異議

なく決定。

○12月22日（金）　午後4時12分、議会運営委員会室において開議、午後11時4分散会
委員長　松浦　義信（自民）

① 取りあえず時間延長することに異議なく決定して、午後4時13分休憩、午後11時3分再開。

② 会期を1日間延長することをはかり、異議なく決定。

③ 村本三郎委員（道政）から、付託議案の議了を強く要望する意見があるので善処されるよう発言があった。

○12月23日（土）　午後4時12分、議会運営委員会室において開議、午後9時45分散会
委員長　松浦　義信（自民）

① 取りあえず時間延長することに異議なく決定して、午後4時13分休憩、午後9時33分再開。

② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況並びに決算特別委員会において審査中の報告第2号、昭和52年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件及び資格審査特別委員会において前会より継続審査中の議員の資格決定要求の件について継続審査の決定について報告。

③ 石狩湾新港管理組合議会議員の補充選挙について、選挙の方法を指名推せんとし、議長において指名することに決定。各会派の配分は、会長会議において、自民党、社会党、道政クラブ、公明党各1名とすることに決定されている旨、並びに議長に対し、自民党から川口常人議員、社会党から野中冨雄議員、道政クラブから伊藤豪議員、公明党から牧野唯司議員の推せんがあった旨報告。

④ 意見案第2号ないし第6号の取り扱いについて、本日の本会議において議決することに異議なく決定。

⑤ 会議案第1号の取り扱いについて、本日の本会議において議決することに異議なく決定の後、本件に関する質疑通告は1名、討論の通告は4名の旨報告。

次いで、本件の委員会付託省略については起立採決により決定することをはかり、異議なく決定。

次いで、提出者の説明ののち質疑に入る前に30分程度休憩することをはかり、異議なくこれを了承。

⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定の後、本会議の途中において、本日中に閉会できないことが明らかになった時点で、議長の発議により、明24日は休日であるが、本会議を開くこととし、1日間の会期延長をはかり、更に開議時刻を午前零時5分に繰上げることをはかり、若干休憩の上、議事を継続する扱いとすることに異議なくこれを了承。

▽　議事順序

諸般の報告

日程第1　議案第1号ないし第40号及び報告第1号、予算特別、総務、厚生、商工労働、文教林務、総合開発調査特別、農務、建設各委員長の報告

（討論）

岩崎守男議員の議案第1号、第25号及び第27号ないし第38号に関する反対討論

本間喜代人議員の議案第1号、第9号、第25号及び第27号ないし第38号に関する反対討論

（採決）

議案第1号、第25号及び第27号ないし第38号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて起立採決（社会、公明、共産反対）

議案第9号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立採決（共産反対）

議案第2号ないし第8号、第10号ないし第24号、第26号、第39号、第40号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて簡易

採決

日程第2　石狩湾新港管理組合議会議員の補充選挙

（選挙すべき管理組合議会議員数4人）

1.　選挙の方法は指名推せんによることについて簡易採決

2.　指名の方法は議長において指名することについて簡易採決

（議長より指名）

3.　議長指名のとおり当選人とすることについて簡易採決

日程第3　意見案第2号ないし第4号

意見案第2号　韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書

意見案第3号　北海道の電力料金安定に関する要望意見書

意見案第4号　スモン患者に対する治療費助成事業の負担に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採　決）

1.　意見案第3号を問題とし、本件を原案のとおり決することについて起立により採決

（共産反対）

2.　意見案第2号及び第4号を問題とし、本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4　意見案第5号

意見案第5号　一般消費税導入問題についての要望意見書

舟山広治議員の意見案第5号に関する説明

（委員会付託省略）

（採　決）

1.　本件を原案のとおり決することについて起立により採決

（自民、道政反対）

日程第5　意見案第6号

意見案第6号　元号法制化促進に関する要望意見書

日程第6　請願第207号及び第221号

請願第207号　元号法制化促進に関する件

請願第221号　元号法刺化反対に関する件

（日程第5並びに日程第6を一括議題）

（意見案第6号の説明及び委員会付託省略）

（日程第6の委員長報告省略）

（討　論）

1.　湯本芳志議員の意見案第6号及び請願第207号（委員会審査報告書、採択）並びに請願第221号（委員会審査報告書、不採択）に関する反対討論

2.　岩本允議員の意見案第6号及び請願第207号（委員会審査報告書、採択）並びに請願第221号（委員会審査報告書、不採択）に関する賛成討論

3.　本間喜代人議員の意見案第6号及び請願第207号（委員会審査報告書、採択）並びに請願第221号（委員会審査報告書、不採択）に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採　決）

1.　日程第5の意見案第6号を問題とし、本件を原案のとおり決することについて起立により採決

（社会、共産反対）

2.　日程第6の請願第207号及び第221号を問題とし、請願審査報告書（請願第207号は採択、請願第221号は不採択）のとおり決することについて起立により採決

（社会、共産反対）

日程第7　請願審査の件　（採択4件）

（委員長報告省略）

（採　決）

1.　本件をいずれも請願審査報告書（採択）のとおり決することについて

簡易採決

日程第8　会議案第1号

会議案第1号　北海道議会議員定数特例条例案

高橋賢一議員の会議案第1号に関する説明

（休　憩）

（開議宣告）

（会議案第1号に関する質疑）

1番　藤井虎雄議員（社会）

（質疑終結宣告）

（採　決）

1. 会議案第1号の委員会付託を省略することについて起立により採決

（社会、道政反対）

（討　論）

1. 岡本栄太郎議員の会議案第1号に関する反対討論
2. 工藤啓二議員の会議案第1号に関する賛成討論
3. 伊藤豪議員の会議案第1号に関する反対討論
4. 本間喜代人議員の会議第1号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採　決）

1. 会議案第1号を原案のとおり決することについて、起立により採決

（社会、道政、共産反対）

閉会中継続審査の件

決算特別委員長から報告第2号及び資格審査特別委員長から前会より継続審査中の案件について、申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに総合開発調査特別委員長から、申し出のとおり閉会中継続審査又は調査に付することについて簡易採決

（議長の閉会のあいさつ）

常　任　委　員　会

総　務　委　員　会

○12月7日（木）　午前11時48分、第5委員会室において開議、午後零時4分散会

委員長　藤井　猛（自民）

開議に先だち、人事異動に伴う道警本部幹部職員の紹介があった。

一　般　議　事

① 総務部長、開発調整部長及び道警総務部長から第4回定例会提出予定案件について説明。

② 委員長から、歳末取締り状況の視察についてはかり、異議なくそのことに決定。派遣委員については委員長に一任。

③ 開発調整部長から、苫小牧東部工業基地における石油備蓄計画について説明。

○12月13日（水）　午前11時6分、第5委員会室において開議、午前11時16分散会

委員長　藤井　猛（自民）

一　般　議　事

○ 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

舟山　広治委員（社会）から、給与改定関係条例は関係団体の合意をえていないのに提案したことの理由について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

○12月21日（木）　午後3時42分、第5委員会室において開議、午後8時56分散会

委員長　藤井　猛（自民）

付託案件の審査

① 議案第11号（北海道教育施設整備基金条例案）及び議案第12号（職員団体の登録に関する条例の一部を改正する条例案）をそれぞれ議題とし、説明を省略、異議なく原案のとおり可決することに決定。

② 議案第13号（北海道議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長か

ら説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

湯本　芳志委員（社会）から、この増設案では十分とはいえないので将来さらに増設をはかる旨の意見を委員長報告文に挿入することについての動議が提出され、賛成あって動議成立、これをはかって、異議なくそのことに決定。

③　議案第20号（昭和54年4月8日執行の北海道議会議員の一般選挙における公職選挙法第144条の4の規定の適用に関する件）及び議案第24号（財産の取得に関する件）をそれぞれ議題とし、説明を省略、異議なく原案のとおり可決することに決定。

④　議案第25号（財産の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、湯本　芳志委員（社会）から、取得について反対の意見があり、挙手採決の結果、賛成多数（社会、公明反対）により原案のとおり可決することに決定。

⑤　議案第39号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、説明を省略し、異議なく原案のとおり可決することに決定。

付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

○12月22日（金）　午後6時22分、第5委員会室において開議、午後11時19分散会

委員長　藤井　猛（自民）

請願、陳情の審査

請　願

第233号　北海道議会議員上川郡部定数に関する件　（保留）

第236号　北海道議会議員定数に関する件　（保留）

第240号　北海道議会議員定数確保に関する件　（保留）

第243号　道議会議員定数削減反対の件　（保留）

第244号　北海道議会議員郡部定数現行維持に関する件　（保留）

第247号　空知支庁所管区域の北海道議会議員定数現行維持に関する件　（保留）

舟山　広治委員（社会）、佐々木　利昭委員（自民）、村本　三郎委員（道政）、浅野　俊一委員（公明）及び湯本　芳志委員（社会）からそれぞれ意見があり、村本　三郎委員（道政）から資料の要求があった。

一　般　議　事

○　委員長から、地方行財政対策の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○12月23日（土）　午後5時20分、第5委員会室において開議、午後5時21分散会

委員長　藤井　猛（自民）

一　般　議　事

○　委員長から、請願第233号ほか5件及び付託の請願、陳情については閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

厚　生　委　員　会

○12月4日（月）　午前11時25分、第9委員会室において開議、午前11時37分散会

委員長　村上　彝明（自民）

一　般　議　事

①　民生部長から、第2期北海道社会福祉長期計画案の骨子について説明。

②　委員長から、第2期北海道社会福祉長期計画案にかかる意見交換のため、本委員会終了後厚生委員協議会を開催することをはかり、異議なくそのことに決定。

○12月7日（木）　午前11時20分、第9委員会室において開議、午前11時30分散会

委員長　村上　彝明（自民）

一　般　議　事

①　委員長から、沖縄戦没者慰霊祭に参列したその概要について報告書により報告、異議な

くこれを了承。

② 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月21日（木） 午後零時5分、第9委員会室において開議、午後零時13分散会
委員長 村上 彝明（自民）

付託案件の審査

○ 議案第14号（北海道立社会福祉総合センター条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第241号及び第253号 腎臓病患者の通院交通費の支給に関する件 （採択）

東 典俊委員（自民）から、道内の人工腎臓保有台数について
質疑があり、衛生部長から答弁。

第239号 道立寿都病院の町立移管に反対し、道立病院の拡充強化を求める件 （取下げ）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した他県における民生、衛生関係の事情及び施設調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② スモン患者に対する治療費助成事業の負担に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なくそのことに決定。

③ 委員長から、昭和54年度国費予算及びスモン患者の治療費助成事業の負担に関する要望のため、中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした

④ 社会福祉対策の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

商工労働委員会

○12月7日（木） 午前11時40分、第8委員会室において開議、正午散会
委員長 影山 豊（社会）

一 般 議 事

① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

② 商工観光部長から、特定不況地域中小企業対策臨時措置法の概要について報告。

③ 労働部長から、特定不況地域離職者臨時措置法の概要について報告。

○12月21日（木） 午後零時8分、第8委員会室において開議、午後零時14分散会
委員長 影山 豊（社会）

付託案件の審査

○ 議案第15号（北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案）を議題とし、労働部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

一 般 議 事

① 委員長から、北海道の電力料金安定に関する要望意見案について、配付の案文により発議についてはかり、異議なくそのことに決定

② 委員長から、北海道の電力料金安定に関する要望及び昭和54年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

③ 付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び商業、鉱工業並びに観光振興対策の件ほか2件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

農務委員会

○11月7日（火）　午前11時20分、第7委員会室において開議、午後零時15分散会
委員長　大平　秀雄（自民）

一般議事

① 農務部長から、有珠山泥流災害による被害及び対策の措置状況について説明の後、
津川　直一委員（道政）から、被災農家の累積負債対策及び被害調査の十分な検討について
保格　博夫委員（社会）から、被害程度及び恒久対策について
岡本　栄太郎委員（社会）から、家畜被害に対する取組み及び畜舎被害に対する補助について
工藤　啓二委員（公明）から、家畜共済の適用範囲について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

② 岡本　栄太郎委員（社会）から、明年度予想される減反増加に対する道の対応について
津川　直一委員（道政）から、北海道農業施策の強化について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○12月7日（木）　午前11時20分、第7委員会室において開議、正午散会
委員長　大平　秀雄（自民）

一般議事

① 委員長から、さきに実施した道外農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 農務部長から、昭和53年度農業災害の資金対策について報告の後、
工藤啓二委員（公明）、岡本栄太郎委員（社会）、作田政次委員（自民）、水沼徳一郎委員（自民）及び保格博夫委員（社会）から災害制度融資対策についての検討方等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

③ 農務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
（委員会散会後、協議会を開催した。）

○12月21日（木）　午後零時17分、第7委員会室において開議、午後零時22分散会
委員長　大平　秀雄（自民）

付託案件の審査

○ 議案第22号（調停に関する件）を議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案可決とすることに決定。

一般議事

① 委員長から、付託の請願、陳情について今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び農業振興対策に関する件について閉会中継続調査とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

② 委員長から、昭和54年度農業関係国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。派遣委員、実施時期等については委員長に一任することとした。

建設委員会

○12月7日（木）　午後1時11分、第4委員会室において開議、午後1時22分散会
委員長　小沢　栄吉（自民）

一般議事

① 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

② 住宅都市部長から、道営北広島団地における熱供給事業の新会社設立の概要について説明。

○12月21日（木）　午後1時36分、第4委員会室において開議、午後1時40分散会
委員長　小沢　栄吉（自民）

付託案件の審査

○ 議案第23号（河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件）を議題とし、

土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一　般　議　事

① 委員長から、さきに実施した有珠山周辺における現地調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 委員長から、昭和54年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

③ 付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び地方道整備促進の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

農地開発委員会

○12月7日（木）　午前11時30分、第2委員会室において開議、午後零時2分散会

委員長　小野　秀夫（道政）

一　般　議　事

① 委員長から、さきに実施した昭和54年度開発公共国費予算及び有珠山噴火災害復旧に係る中央折衝の結果、並びに他県における農業基盤整備に係る調査結果の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

③ 農地開発部長から、道営工事実施に伴う季節労務者等雇用状況等について説明の後、

渋谷　澄夫委員（社会）から、苫小牧市における接待費不正支出事件に関し、実態の把握、市町村などの接待に対する部長の見解、今後の指導について

石山　直行委員（自民）から、道交法改正の関連から資材運搬等に伴う積算単価の引上げについて

質疑、要望があり、農地開発部長から答弁。

○12月21日（木）　午後零時2分、第2委員会室において開議、午後零時4分散会

委員長　小野　秀夫（道政）

一　般　議　事

① 委員長から、昭和54年度北海道開発関係予算に関する中央折衝実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

② 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。

③ 委員長から、閉会中における所管事務調査について継続調査することをはかり、異議なくそのことに決定。

水　産　委　員　会

○12月6日（水）　午後3時5分、第6委員会室において開議、午後4時24分散会

委員長　吉田　政一（自民）

一　般　議　事

① 水産部長から、えびかご漁船減船漁業者救済費交付金に関する再調査について報告の後、

砂原　清治委員（社会）から、操業準備に関する調査の終結と減船補償金の分配に関する業界指導について

川崎　守委員（共産）から、覚書に基づく交付金の配分問題の解明について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

② 水産部長から、にしん漁業の減船交付金問題に関する調査結果について報告の後、

川崎　守委員（共産）から、にしん漁業の許可の実態と漁業法第57条に基づく起業認可の適格性について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。なお法令解釈については答弁保留。

○12月7日（木）　午前11時20分、第6委員会室において開議、午後零時15分散会

委員長　吉田　政一（自民）

一　般　議　事

①　水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

②　委員長から、さきに実施した道外水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

③　水産部長から、昨日の委員会において保留した減船交付金問題について答弁の後、

川崎　守委員（共産）から、起業認可の適格性と漁業権の取扱い方針について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

○12月21日（木）　午後1時30分、第6委員会室において開議、午後2時5分散会

委員長　吉田　政一（自民）

一　般　議　事

①　委員長から、韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なくそのことに決定。

②　水産部長から、昭和54年度国費予算編成について説明。

③　委員長から、昭和54年度国費予算及び韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

④　付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び水産業振興対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

⑤　水産部長から、日ソ漁業交渉の締結について報告の後、

岩崎　守男委員（社会）から、漁獲減に伴う漁業者対策について

松浦　義信委員（自民）から、領海ラインと協定ラインとの関係について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

⑥　岩崎　守男委員（社会）から、小型さけます船の適正化に伴う行政指導と対策について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○12月7日（木）　午前11時40分、第10委員会室において開議、午後零時30分散会

委員長　原　清重（社会）

一　般　議　事

①　教育長、林務部長及び学事課長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

②　教育長から、昭和54年度の公立特殊教育諸学校配置計画及び公立高等学校適正配置計画の追加分について説明の後、

伊藤　豪委員（道政）から、特殊教育諸学校配置計画を策定する過程で障害児の父母から出された新たな意見、今後の配置計画、特殊学級に障害児を就学させることに伴う市町村及び当該校の負担増に対する考え、訪問教育実施の考え、対象児童数の確定時期、教員確保の可能性について

星野　健三委員（社会）から、特殊教育諸学校配置計画における分校設置の考え方、予算面での本校と分校との格差の有無について

本間　喜代人委員（共産）から、公立高等学校適正配置計画に関し、江差高校の職業科と普通科分離及び桧山南部四町による組合立高校設立計画と54年度適正配置計画の関連、江差高校の分離及び組合立高校新設による両校の間口増に伴う進学率の上昇見通しと乙部高校の間口減との関連、組合立高校新設の場合に教育施設整備基金を補助対象とする考え等について

質疑及び要望があり、教育長から答弁。

○12月21日（木）　午後3時30分、第10委員会室において開議、午後3時37分散会

委員長　原　清重（社会）

付託案件の審査

○　議案第16号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）、議案第26号（船舶建造請負契約の締結に関する件）及び議案第40号（北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する

条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一　般　議　事

① 委員長から、付託の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び学校教育並びに社会教育の充実促進の件ほか1件について閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

② 昭和54年度国費関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

特　別　委　員　会

総合開発調査特別委員会

○12月6日（水）　午後1時48分、第1委員会室において開議、午後2時6分散会

委員長　三上　勇（自民）

① 開発調整部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

② 開発調整部長から、苫小牧東部工業基地用地の第二次買収について説明。

③ 開発調整部長から、苫東石油備蓄計画について説明の後、

藤井　虎雄委員（社会）から、石油備蓄基地の安全性について

質疑があり、開発調整部長から答弁。

○12月21日（木）　午後2時30分、第1委員会室において開議、午後2時35分散会

委員長　三上　勇（自民）

付託案件の審査

議案第21号（定山渓ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、2項目の付帯意見を付して原案可決することに決定。

その他の議事

① 付託の請願について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

② 委員長から、昭和54年度国費予算編成に係わる中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。派遣委員、実施時期等については委員長に一任することとした。

石炭対策特別委員会

○12月21日（木）　午後2時37分、第8委員会室において開議、午後2時40分散会

委員長　工藤　万砂美（自民）

① 委員長から、さきに実施した石炭専焼火力

発電所及び石炭液化研究所の道外調査及び石炭対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 委員長から、昭和54年度国費予算及び石炭対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

○12月7日（木） 午後2時30分、第5委員会室において開議、午後2時42分散会

委員長 若狭 靖（自民）

① 委員長から、北方領土の復帰促進に関する富山県の再決議状況について報告。

② 委員長から、さきに実施した中央折衝並びに他府県議会への決議要請の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

③ 領対本部長から、根室市に建設される「望郷の岬公園」の概要、及びシンボル像建設計画の経過について報告の後、

松浦 義信委員（自民）から、岬公園に建設する北方館と既存の北方資料館との関連について

質疑があり、領対本部長から答弁。

④ 領対本部長から、日ソ平和条約締結促進に関する要請団及び北方領土復帰実現に関する請願団の中央要請の実施について説明の後、

委員長から、この実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

○12月7日（木） 午後2時34分、第2委員会室において開議、午後2時45分散会

委員長 田苅子 政太郎（自民）

① 委員長から、さきに実施した他府県における公害事情調査の概要について報告書が提出されている旨報告、異議なくこれを了承。

② 生活環境部長から、苫小牧東部大規模工業基地に係わる環境保全について報告の後、

池島 信吉委員（社会）から、苫東石油共同備蓄基地計画と環境影響評価条例との関連等について

質疑があり、生活環境部長から答弁。

③ 生活環境部長から、環境影響評価条例制定後の経緯について報告。

有珠山噴火災害対策特別委員会

○12月7日（木） 午後4時5分、第1委員会室において開議、午後4時40分散会

委員長 高橋 辰夫（自民）

① 委員長から、さきに実施した有珠山噴火災害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 委員長から、有珠山火山活動及び泥流災害等に関する要望意見案の発議についてはかり異議なくそのことに決定。

③ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

④ 総務部長から、有珠山泥流災害及び地殻変動等による被害状況並びに対策措置状況について報告。

資格審査特別委員会

○12月9日（土） 午前10時40分、第2委員会室において開議、午前10時55分散会

委員長 三上 勇（自民）

○ 武部 勤委員（自民）から地方自治法第92条の2及び同法第127条の立法趣旨及び具体的判断基準としての営利性、継続性、私企業性の3要件からみて、寺崎議員、大平議員については資格を喪失する根拠がない旨の意見開陳があった。

○12月19日（火） 午後2時28分、第8委員会室

において開議、午後4時50分散会

委員長　三上　勇（自民）

① 熊谷　克治委員（社会）から、被要求者から提出あった答弁書のうち、公益性について意見があり、ついで議長名をもって自治省に対し照会した経緯について発言、社団法人北海道農業コンサルタントの決算書及び北海道議会佐々木議長名（53年7月3日付）をもって自治省行政局長宛の照会文、同回答文を資料として委員に配付されたい旨の要求の後、午後2時39分休憩、午後4時49分再開。

② 委員長から、熊谷委員の資料要求の件について理事会で協議の結果、意見の一致を見ていない旨発言の後、審査中の資格決定要求について、閉会中継続審査することをはかり、異議なくそのことについて決定。

予算特別委員会

○12月15日（金）　午後1時17分、第1委員会室において開議、午後1時27分散会

委員長　熊谷　克治（社会）

正副委員長の互選

① 小沢　栄吉臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、高木繁光委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、熊谷克治委員（社会）を委員長に選出。

② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、青木延男委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、小沢栄吉委員（自民）を副委員長に選出。

③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後1時23分休憩、午後1時24分再開。休憩中協議の結果、まず、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して審議を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人とし、商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に係る総括質疑は本委員会において行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。

④ 各分科会の委員についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定

○第1分科委員

伊藤武一	（公明）	石崎喜太郎	（自民）
木村喜八	（道政）	大場信吾	（自民）
佐藤静雄	（自民）	高木繁光	（自民）
岡本栄太郎	（社会）	川崎守	（共産）
舟山広治	（社会）	平野明彦	（自民）
大平秀雄	（自民）	小沢栄吉	（自民）
影山豊	（社会）	小堀秀次	（社会）
松浦義信	（自民）		

○第2分科委員

青木延男	（社会）	石山直行	（自民）
岩本允	（自民）	伊藤豪	（道政）
寺崎政朝	（自民）	岩崎守男	（社会）
工藤啓二	（公明）	林勝	（自民）
米田忠雄	（自民）	伊藤知則	（自民）
宇野真平	（自民）	東典俊	（自民）
野中冨雄	（社会）	改発治幸	（社会）
田苅子政太郎	（自民）		

⑤ 各分科会に分科副委員長1名おくこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり異議なくそのことに決定。

⑥ 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。

⑦ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

⑧ 本委員会の運営については、正副委員長及び各分科会正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うことをはかり、異議なくそのことに決定。

第1分科会

○12月15日（金）　午後1時29分、第1委員会室において会議、午後1時37分散会、第1分科委員長

岡本　栄太郎（社会）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長には岡本栄太郎委員（社会）、分科副委員長には高木繁光委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。

③ 本分科会の運営については、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うこと、及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

理事には、平野明彦委員（自民）、舟山広治委員（社会）、木村喜八委員（道政）、伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。

○12月16日（土）　午前10時54分、第1委員会室において開議、午後3時48分散会、第1分科委員長　岡本　栄太郎（社会）

① **公安委員会及び民生部所管に対する質疑**に入り、

岩崎　守男委員（社会）から、消費生活協同組合に関し、生協に対する基本的な考え方、員外利用についての考え方及び生協に対する行政指導のあり方、生協と地域の商店街との調整に対する指導のあり方及び消費者保護の立場にたっての指導の必要性等について

舟山　広治委員（社会）から、第2期社会福祉長期計画に関し、計画策定に当っての総体掌握及び現状認識と見解、市町村独自の老人医療費公費負担制度実施についての受けとめ方、及び老人医療の現状認識と計画作成に当って見直す考え、道が主体となる福祉施策の推進方と道立老人施設、旭川静和園の方向づけ、老人医療の公費負担制度の今後の考え方等について

本間　喜代人委員（共産）から、(1)老人医療に関し、老人医療受給者証の交付状況及び市町村の国保財政に対する助成の改善の有無、家族制限の条項撤廃及び他府県の制度を参考にし再検討の必要性、

(2)国保財政に関し、国保財政に対する助成措置の考えと具体的な状況及び予算積算の根拠について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、公安委員会及び民生部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後2時23分休憩、午後2時25分再開。

② **衛生部及び企業局所管に対する質疑**に入り、

舟山　広治委員（社会）から、(1)医療行政に関し、道立病院の内容・整備充実等の現状認識と見解、道立病院のあり方及び医師・看護婦の充足対策と離島等地域の実態整備、総体に見合った改善措置等について

(2)網走管内ひまわり学園の赤痢発生に関し、赤痢菌型の種類及び赤痢発生の状況掌握の実情、発生の経路と道及び保健所の防疫体制強化、行政措置等について

(3)食品衛生と営業指導に関し、食品衛生監視についての考え方と実情にあった行政措置の必要性、衛生責任者配置の考え方及び食品営業の許可の期限と手数料徴収の在り方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部及び企業局所管に対する質疑を終結。

○12月18日（月）　午前11時30分、第1委員会室において開議、午後4時32分散会、第1分科委員長　岡本　栄太郎（社会）

① **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

舟山　広治委員（社会）から、(1)テレビの難視聴問題に関し、全道の難視聴地域の現状と解消時期

(2)環境問題に関し、環境影響評価条例の施行に伴なう庁内体制及び石油備蓄等の防災体制と地域住民との対処のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により、午後零時7分休憩、午後1時25分再開。

② **開発調整部所管に対する質疑**に入り、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)電話のない地域の解消に関し、無電話地域の現状と対策

(2)過疎バスの運営に関し、地方バスの運営状況と市町村に対する道の指導、財政援助の方策とバス料金の格差についての考え方等について

川崎　守委員（共産）から、(1)苫東開発に関し、企業の張付けの見通しと発展計画の見直し、経済情勢の変化と住宅団地の分譲との関連、国の地域振興公団の三団地一括引き取りに係わる折衝状況とその条件に対する道の主張、公団に売却する場合の価格計算等

(2)青函トンネルと新幹線に関し、見通しと自元負担についての考え、トンネルの完成と新幹線とが結合する時期、完成した場合の地元に与える影響等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時4分休憩、午後3時7分再開。

③　**各種委員会所管に対する質疑**に入り、

保格　博夫委員（社会）から、(1)僻地級の改正問題に関し、改正に当っての人事委員会の見解、過疎化と級地改正との関連及び国に対する要請のあり方、特地勤務手当に準ずる手当の取り扱いと僻地職員の優遇措置についての考え方

(2)寒冷地手当問題に関し、地方公務員と三公社五現業職員との格差及び今回の勧告に盛られなかった理由、道独自の改正を実施する考え

(3)勤勉手当問題に関し、本会議において静観すると答弁した理由、委員会の主体性及び勤勉手当制度を適当とした判断理由、今回改正を行なう理由とその考え方、人事委員会の議事録公開方、51年に勤勉手当制度を実施しようとした委員会の考えと今回との考え方の変化の理由等について

質疑、意見及び要求があり、答弁調整のため、午後4時24分休憩、午後4時31分再開し、直ちに散会。

○12月19日（火）　午前11時21分、第1委員会室において開議、午後4時25分散会、第1分科委員長
岡本　栄太郎（社会）

①　**各種委員会所管に対する質疑**を続行、

人事委員長から、昨日の保格博夫委員（社会）の質疑に対する補足答弁の後、

保格　博夫委員（社会）から、給与勧告にあたって労働者側の意向を取り入れず、理事者の態度に依存して勧告した理由について、勤勉手当導入による予算の総額の変更の有無及び勤勉手当導入による勤労意欲高揚の効果についての所見、勤勉手当支給基準を人事委員会規則に規定する考え方、労働者の意見を聞く考えの有無、条例の議決と公布の時期についての考え方等について

質疑及び意見があり、人事委員長及び人事委員会事務局長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時15分休憩、午後1時50分再開し、人事委員長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

保格　博夫委員（社会）から、条例の公布についての期間制限と人事委員会規則制定について職員団体と十分話し合う考え等について

質疑及び意見があり、人事委員長から答弁があって、議事進行の都合により、午後2時23分休憩、午後3時42分再開し、人事委員長から休憩前の保格委員の質疑に対する補足答弁があって、各種委員会所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時46分休憩、午後3時51分再開。

②　分科委員長から、牧野唯司第1分科委員（公明）の質疑通告の取下げの申し出があった旨報告の後、

③　**総務部所管に対する質疑**に入り、

岩崎　守男委員（社会）から、特別職の職員の勤務のあり方等に関し、特別職の公務員の勤務時間等を厳正にすることについての見解、行政懇談会の開催要綱作成の必要性、特別職の公務員の公・私の区分をつけることの必要性等について

舟山　広治委員（社会）から、文書館の建設に関し、道立文書館の建設について学識経験者の意見を聞く考え方及び具体的な方向づけ等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○12月20日（水）　午前10時43分、第1委員会室において開議、午後1時12分閉会、第1分科委員長
岡本　栄太郎（社会）

①　**総務部所管に対する質疑**を続行、

藤井　虎雄委員（社会）から、石油備蓄計画に関し、備蓄基地計画と石油精製企業等の立地促進との関連、石油共同備蓄によるコスト高となる可能性、基地にかかわる安全防災

対策について、技術専門員会議の審議内容及び報告書の内容等について

川崎　守委員（共産）から、(1)私立高校の入学金等に関し、入学金の性格、納入時期、実際に入学しなかった場合の措置と納入方法の改善についての行政措導、私立高校に対する管理運営費補助の増額と入学金及び授業料に対する直接補助についての考え方

(2)市町村振興基金に関し、市町村が行う季節労務者対策事業に対する道の財源補てんの状況と市町村全体の事業費、特別交付税、起債による措置状況、振興補助金の補助対象とする必要性等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する審議経過及び結果報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第 2 分 科 会

○12月15日（金）　午後1時30分、第2委員会室において開議、午後1時37分散会

第2分科委員長　伊藤　知則（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長には、伊藤知則委員（自民）、分科副委員長には、青木延男委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営について自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選びその協議により行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、林　勝委員（自民）岩崎守男委員（社会）、伊藤　豪委員(道政)及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

○12月16日（土）　午前11時、第2委員会室において開議、午後3時40分散会

第2分科委員長　伊藤　知則（自民）

① **商工観光部所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、(1)年末金融と金利の関係に関し、ことしの年末金融についての対応策並びに金融機関別の件数及び目標とその実績、信用組合の目標枠の拡大と貸出金利の現状に係る道の考え方、利率を下げることについての指導の可能性、

(2)産炭地振興問題に関し、炭鉱跡地における人口定着状況、定着者に対する福祉施設等の存置と救済策について

山家　勇委員（社会）から、石炭問題に関し、産炭地の振興対策と将来展望の見通し、石炭の備蓄対策についての考え方、電力料金の単価アップと石炭の需要拡大との関連及び道の考え、電源開発の誘致と貯炭解消の方策、道独自の石炭専焼火力発電所の建設計画及び企業自体で産炭地に発電所を作る計画とその可能性、60年度までの年次別石炭専焼火発建設計画及び一般炭の需給関係、現存する炭鉱を崩壊させない対策についての道の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時36分休憩、午後1時43分再開。

② 分科委員長から、川崎守第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び労働部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。

③ 委員長から、青木延男委員（社会）並びに工藤啓二委員（公明）から、質疑通告の取下げがあった旨を報告。

④ **林務部及び労働部所管に対する質疑**に入り

吉田　英治委員（社会）から、(1)身体障害者の雇用対策に関し、道内における身障者の雇用の実態、道立の身体障害者職業訓練校の概要と入所者数が定員に満たない理由、社会適応訓練のあり方、雇用給付金の実態並びに国と道との対比数、給付金の還元と訓練センターの設置についての考え方、

(2)季節労働者問題に関し、本年度の実態とその対処策、積寒給付金制度の改善点と季節労

働者の救済対策、

(3)職業訓練法の改正に関し、改正の趣旨と道の考え方、職業訓練短期大学及び技能開発センターへの切り替えに対する道の考えと見通し、

川崎　守委員（共産）から、(1)積寒給付金に関し、季節労働者の内訳、積寒給付金の目標及び拡大の要素、給付金と公共事業との関連及び受給に係る指導方、給付金の期限後のあり方と増額に対する見解及び水産加工業が通年雇用制度に加入されない理由、

(2)造船関連の不況対策に関し、離職者の再就職と職業訓練校入校者の目標数、直営公共事業の実施について道の見解、再就職援助計画と職業安定所長の認定との関連、大企業の解雇規制についての具体策について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、林務部及び労働部所管に対する質疑を終結。

⑤　**農地開発部及び水産部所管に対する質疑**に入り、

委員長から、砂原清治委員（社会）並びに岩崎守男委員（社会）から質疑通告の取下げがあった旨を報告し、農地開発部及び水産部所管に対する質疑を終結。

○12月18日（月）　午前11時56分、第2委員会室において開議、午後5時1分散会

第2分科委員長　伊藤　知則（自民）

①　**土木部所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、(1)第8次道路整備5ケ年計画に関し、この計画に合わせた道々整備計画の概略、開発道路の進捗率と夕張一芦別間の完成の見通し、月形一厚田線道路の現況、今後の改良舗装計画

(2)河川の整備に関し、本道の河川整備状況と河川の昇格基準、年度別昇格数のうち51年度において2河川のみ昇格させなかった理由、ダルミ川の昇格の見通し、5ケ年計画終了時における原始河川の整備目標等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、議事進行の都合により、午時零時38分休憩、午後1時52分再開。ついで、

小野　秀夫委員（道政）から、(1)苫小牧西港の共同管理に関し、40年に苫小牧に限って共同管理を行った理由とその期間を示す協定書の内容、10年間の期間を設定した趣旨及び共同管理を行う理由が消滅したことについての道の見解、西港に対する道の財政援助と他の港湾とのバランスについての考え、期間協定書の内容とその取扱い並びに検討の有無、

(2)既存港湾に対する財政援助に関し、苫小牧西港が他の港湾に比較して手厚い援助を受けている理由、港湾管理者に対する道費補助が53年にダウンした理由と全額援助についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結、理事者交替のため午後2時49分休憩、午後3時3分再開。

②　**住宅都市部所管に対する質疑**に入り、

野中　冨雄委員（社会）から、(1)道営住宅の入居状況に関し、函館旭岡団地の入居率の低い原因並びに市営住宅との格差、3ケ月分の敷金を徴する条例制定時期と市町村交付金制度の改正についての考え、国に対する要請の有無及び今後の建設予定計画、

(2)道々函館一南茅部線に関し、事業費と施行区分及び完成時期、用地買収状況及び局部的狭隘道路との旭岡団地の入居との関連、54年までに完成することの可能性等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時59分休憩、午後4時10分再開。

③　**農務部所管に対する質疑**に入り、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)米の自主的生産調整に関し、最近の情勢の変化並びに国の方針が変らないことの見解、食管制度のあり方と道の考え、消費者米価の一方的値上げと食管法との関連、

(2)水稲の褐斑現象に関し、原因究明の経緯と研究機関並びに対策

(3)豚肉の価格に関し、価格の値下りについての今後の見通し、畜産物の価格安定法に基づく畜産振興事業団との関連、価格と市場における影響及び生産調整指導の有無、

(4)鶏卵の価格に関し、養鶏農家の経営状況、卵の生産調整に係る法的規制の有無、価格安

定対策と消費者に対する対策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

○12月19日（火）　午前11時16分、第2委員会室において開議、午後2時40分閉会

第2分科委員長　伊藤　知則（自民）

① 分科委員長から、本間喜代人第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び教育委員会所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)学校ぎらいの児童生徒に関し、道の実態とその原因及び抜本的対策、

(2)3学級3定員問題に関し、明年度の学校数と道教委の考え方、定員を増加する考え、明年度の丙午に該当する中学校生徒数の影響と対策、小中併置校に対する改善策、

(3)特殊学校の寄宿舎に関し、国の基準の改正に伴なう道の対応策、帯広盲・聾学校における本年度の設計が国の基準に該当していない理由、国の基準を知った時期と設計に要した日数並びに手直しをすることについての道教委の考えの有無等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。議事進行の都合により、午後零時11分休憩、午後1時47分再開。ついで、

本間　喜代人委員（共産）から、(1)高等学校の図書費に関し、図書の充足率が基準に満たない学校数、生徒用図書の購入状況と団体並びに父兄負担の実態、購入費増額の有無と寄附採納についての考え方、

(2)宿日直員の待遇改善に関し、改善策の具体例並びに給与等の再検討についての見解、

(3)木造校舎に関し、校数と体育館のみを改築する計画の有無、年次別の改築計画、

(4)スポーツの振興に関し、夏でも利用できるジャンプ台の設置計画及びテニスコートの冬期間利用についての検討の要請方、

(5)就学援助費に関し、現在の状況と国に対する要望の内容及び見通し等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○12月20日（水）　午後3時53分、第1委員会室において開議、午後7時51分閉会

委員長　熊谷　克治（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② **知事に対する総括質疑**に入り、

川崎　守委員（共産）から、私立高校への授業料助成に関し、私学の占める役割と評価及び公・私立の父母負担の格差解消策についての考え、入試競争のはげしくなった要因について、管理運営費補助金及び各種助成措置内容を父母へ明示の必要性、助成のあり方と補助方法の再検討等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

③ 付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。意見調整のため午後4時40分休憩、午後7時46分再開。

④ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第9号及び第27号ないし第38号について意見の一致をみるに至らなかった旨報告の後、議案第1号及び第27号ないし第38号を一括議題とし、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第9号を議題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第2号ないし第8号、第10号、第17号ないし第19号及び報告第1号を一括議題とし、異議なく議案はいずれも原案可決、

報告第１号は承認議決とすることに決定。

⑤　委員長から、付託案件に対する審査終了のがあいさつあった。

決算特別委員会

○昭和52年12月16日（金）　午後３時４分、第１委員会室において開議、午後３時13分散会

委員長　池島　信吉（社会）

正副委員長の互選

①　杉本　栄一臨時委員長（自民）から、委員長の互選の方法についてはかり、新沼浩委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、池島信吉委員（社会）を委員長に選出。

②　委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、吉田英治委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、浅川正敏委員（自民）を副委員長に選出。

③　委員会の今後の運営方法等協議のため午後３時９分休憩、午後３時11分再開。休憩中協議の結果、本委員会の運営については、自民、社会各２名、道政、公明各１名、計６名の理事を選び、その協議によりこれを行なうこと、及び共産はオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、新沼浩委員（自民）、大場信吾委員（自民）吉田英治委員（社会）、渋谷澄夫委員(社会)高田忠雄委員（道政）、柳谷正一委員(公明)をそれぞれ選出。

④　委員会の申合せ事項（１質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。２発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。３委員の交代は、原則として認めないこと。４資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行なうこと）についてはかり、異議なくそのように決定。

⑤　今後の運営方法については、理事会において協議、決定することとした。

⑥　今後の審査日程について、理事会協議のうえ、次回委員会において決定することとした。

○12月22日（木）　午後10時46分、第１委員会室

において開議、午後10時55分散会

委員長　池島　信吉（社会）

① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。

② 今後の審査日程について、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

③ **報告第1号（昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）**を議題とし、総務部長から決算の概要について、代表監査委員から決算意見についてそれぞれ説明。

④ 決算審査に必要な資料についてはかり、異議なく次の59項目を要求することに決定。

(1) 行政管理庁の指摘（要望等）事項と措置状況
(2) 会計検査院指摘並びに措置状況
(3) 道監査委員の指摘事項と措置状況
(4) 繰越事業の経過調（50年度から51年度への繰越分）
(5) 昭和51年度決算における各土現、支庁毎の工事費、名称、金額、業者名
(6) 補助事業における国、道、市町村その他負担状況調
(7) 請負工事契約不履行状況調（設計変更一覧を含む）
(8) 河川敷地管理状況
(9) 補助金支給調書（各団体名、交付金、助成金含む）
(10) 各種団体に対する貸付金に関する調
(11) 企業誘致にかかる道税の課税免除額調（51年度）
(12) 公害パトロール状況とその結果、措置状況調
(13) 社会福祉の施設別国庫補助、国庫負担金の受入状況調
(14) 道立重症心身障害者施設、老人ホーム及び児童施設利用状況と収容区分調
(15) 第3セクターの決算調
(16) 農地移動状況調
(17) 公害監視委員の活動状況
(18) 有価証券、出資金、基金内容調
(19) 食品衛生監視費調
(20) 市町村地方交付税調（3カ年）
(21) 道警補助金交付団体及び関連団体の決算書
(22) 道警諸出動回数延人員及び回数経費内訳
(23) ケースワーカー人員及び配置状況調
(24) 教職員の道内、道外採用人員数及び予定者
(25) 札幌各道税事務所の組織、人員及び時間外勤務手当支給額
(26) 北海道納税推進運動本部の役員及び委員名簿
(27) 超過負担調
(28) 道営事業の経過調（1千万円以上）〔格付業者名、落札に至るまでの経過及び道内外別・{1億円以上にかかる入札参加業者名（付表）}〕
(29) 各種審議会、委員会等の諮問と答申の内容調（51年度）
(30) 各委託研究事項の件別実態調
(31) 交通安全協会、北方領土復帰期成同盟調
(32) 不納欠損処分調書（51年度税目別の滞納金額）
(33) 信用保証協会保証実績、代位弁済額及び担保、無担保別調書、徴収不能による欠損（3カ年）
(34) 北海道指定文化財整備状況調
(35) 調査費（委託によるものも含む）内容調
(36) 北海道土地開発公社決算と補助金の内容調
(37) 庁内所在の外郭団体決算状況調
(38) 農業開発公社の用地取得調（面積、金額単価、地番、相手方）
(39) 地方振興奨励費の支庁別市町村別内容調
(40) 市町村振興基金及び市町村振興補助金の実績調
(41) 消費生活協同組合貸付状況及び決算調書（3カ年）
(42) 定期航路運航費補助金調
(43) 食品衛生強化対策費補助金調
(44) 農漁家林拡充整備費調
(45) 道税滞納者個人別調書（記号表示）、（百万円以上）
(46) 道税不納欠損処分個人別調書（記号表示）（百万円以上）
(47) 料飲税滞納者に関する滞納処理状況調
(48) 広報活動の実態と経費区分（3カ年）

(49) 漁業権と漁獲の公平配分一覧表（権利、金額～個人別）
(50) 業者別、ランク別工事発注一覧表
(51) （通称）天下り人事についての調査
(52) 道職員中、警察、教職員、道職員の定員（実人員）調
(53) 昭和51年度派遣職員の状況調査（道以外の公社及び助成している団体）
(54) 昭和51年度職業訓練校、小・中・高校における時間講師に対する報酬の支払状況
(55) 公営住宅の51年度火災保険料調
(56) 道有財産（不動産）についての調書
(57) 機関委任事務及び団体委任事務に関する調
(58) 直轄事業負担金調
(59) 金融機関別預金状況調

⑤ 委員長から、付託の報告第1号（昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）について閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

⑥ 1月9日から1月13日まで委員会を開かず書面審査を行うことに決定。

⑦ 書面審査室を第3委員会室に設置することに了承。

○昭和53年1月14日（土） 午後2時50分、第1委員会室において開議、午後2時53分散会
委員長 池島 信吉（社会）

① 委員長から、12月22日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。

② 決算審査のための必要な資料の追加要求についてはかり、異議なく次の10項目を要求することに決定。
(1) 現職警察関係による不祥事故一覧
(2) 地方事務官制度の内容（部門別人員数、人件費、予算管理の実態）
(3) 支庁別出先機関への予算配分一覧
(4) 広告料件数と金額の一覧（各部毎）
(5) 研究所、試験所の収支一覧
(6) 道立学校の運営概要と収支一覧（保育学校、消防学校、警察学校等但し医大を除く）
(7) 住宅都市部公営課が発注する設計契約先一覧（教育庁関係含む）
(8) 道の制度資金の利用実態と倒産の有無
(9) 国土調査事業量と予算の3年間対比表（49年～51年）
(10) 51年度中に新らしく委任された許認可事務、その他委任事務の一覧

③ 1月17日から1月27日までは委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

○1月28日（土） 午後1時18分、第1委員会室において開議、午後1時20分散会
委員長 池島 信吉（社会）

① 委員長から、昨年12月22日及び去る1月14日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。

② 決算審査に必要な資料の追加要求についてはかり、異議なく次の10項目を要求することに決定。
(1) 個人タクシーの申請者数及び許可数（地区別）
(2) トラック運送業の申請者数及び許可数（地区別）
(3) 各市町村における道税徴収のコスト調
(4) 「広報活動の実態と経費区分」に係る発注先調
(5) 山元別、石炭出荷状況調（年間）49年～51年
(6) 公用車（乗用）配置状況
(7) 公用車による事故状況と補償の実態
(8) 各福利厚生関係取扱い手数料収支調
(9) 公宅家賃及び借上公宅状況調
(10) 支庁部長職以上の各種手当調（52年3月分）

③ 1月30日から2月4日まで委員会を開かず書面審査を行なうことに決定。

○2月6日（月） 午後6時35分、第1委員会室において開議、午後6時37分散会
委員長 池島 信吉（社会）

① 委員長から、さる1月28日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。なお、

各福利厚生関係取扱い手数料収支調については、調整次第配付することに決定。

② 2月7日から13日まで委員会を開かず書面審査を行うことに決定。

○2月14日（火） 午後3時37分、第1委員会室において開議、午後3時38分散会

委員長 池島 信吉（社会）

① 委員長から、要求資料の各福利厚生関係取扱い手数料収支調については、なお調整中である旨を報告、これを了承。

② 書面審査室は休会中閉鎖することを了承。

○3月29日（水） 午後9時17分、第1委員会室において開議、午後9時18分散会

委員長 池島 信吉（社会）

① 議席についてはかり、臨時的に着席のとおりとすることに決定。

② 委員長から、付託の報告第1号（昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）について閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○4月11日（火） 午後零時36分、第1委員会室において開議、午後零時38分散会

委員長 池島 信吉（社会）

① 今後の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

② 決算審査に必要な資料の要求についてはかり、異議なく次の1項目を要求することに決定。

(1) 空知・十勝・釧路支庁における出張命令、備品、消耗品購入並びに車チケット使用及び工事発注調べについて

③ 委員長から、未提出資料の各福利厚生関係扱い手数料収支調については、理事会で協議の結果、取り下げることに決定、これを了承。

④ 書面審査室は、第3委員会室に設置することを了承。

○4月25日（火） 午前11時25分、第1委員会室において開議、午後3時17分散会

委員長 池島 信吉（社会）

① 委員長から、さる4月11日の委員会決定に基づく審査に必要な資料の要求について、本日提出されている旨報告。

② 委員会の今後の審査日程について配付の日程表のとおりとすることに決定。

③ **報告第2号を議題**とし、**総体質疑**に入り、

山家 勇委員（社会）から、51年度予算編成方針と決算状況についての所見、予算編成要領の性格、超過負担の解消についての努力、法人道民税の超過課税に対する道民意向の尊重、債務負担行為増加の理由、事務事業の見直しの内容、全国知事会の活動と成果、第一次産業の振興に対する努力、道民との対話のあり方等について

質疑、意見があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後零時29分休憩、午後1時8分再開。引き続き、

山家 勇委員（社会）から、行政執行体制に関し、不況対策、教育、福祉に関する予算の執行状況、道職員の綱紀粛正についての徹底等について

川崎 守委員（共産）から、知事の道政執行方針に関し、不況対策としての公共事業のあり方と具体的な実効性、養護学校の義務化に伴なう施設整備状況、道の指定金融機関の融資業務のあり方等について

質疑、意見及び要求があり、知事から答弁。

○4月26日（水） 午前11時10分、第1委員会室において開議、午後5時30分散会

委員長 池島 信吉（社会）

○報告第1号を議題とし、**総体質疑**を続行、

渋谷 澄夫委員（社会）から、決算資料の調整及び出資金に対する見解、道の貸付金制度のあり方、補助金制度の合理化についての結果、出資金に対する基本的な考え方及び出資金を決定するに当っての経過、債務負担行為にかかわる基本的な考え方、道が発注する建設工事等についての業者の選定基準、随意契約の要件及び発注者の決定に当って検討の有無について（関連して、**熊谷 克治委員（社会）**から、地方自治法第92条の2に関する

行政実例、財務規則の運用方針の解釈、建設業会等の政治献金にかかわる統一見解について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時29分休憩、午後2時30分再開し、引き続き、

熊谷　克治委員(社会)から、地方自治の趣旨と行政実例との取り扱いについての道の考え方、非営利法人の請負に関する再検討の必要性、業界からの政治資金を知事の後援会が受けることについての道の姿勢等について)

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。ついで、

吉田　英治委員（社会）から、監査を行なう場合の重点目標及び指摘事項のあり方と改善方法、公用車の事故による賠償金額、予算と行政効果との実例、財政援助団体における監査結果、有価証券に係る監査状況及び保管と確認についての見解について

川崎　守委員（共産）から、(1)国に対する道有地の無償貸し付けに関し、場所及びその理由並びに有償にするための道の考え方、

(2)公立高等学校の新増築に伴なう補助金に関し、国の補助率及び市町村立学校の宿日直代行費に関する道の補助金のあり方、

(3)食糧費に関し、決算資料として提出されない理由及び細節経理の必要性とその取り扱い方、食糧費の配当額及び執行額の把握についての考え、次回委員会までに資料を提出することについて（関連して**平野　明彦委員**（自民）から、市町村に対して道有地を無償で貸し付けている場合及び市町村から無償で借りている場合の実態並びに無償貸し付けの解消に関する道の基本方針について)

質疑、意見及び要望があり、総務部長、代表監査委員及び出納長から答弁。

○5月16日（火）　午前10時59分、第1委員会室において開議、午後2時54分散会

委員長　池島　信吉（社会）

① 委員長から、さきに提出された資料中一部訂正の申し出があった旨報告。

② 出納長から、さきの委員会における吉田英治委員（社会）の質疑に対する答弁中一部訂正したい旨発言。

③ **公安委員会所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、(1)駐在所及び派出所の整備に関し、新設、転換等の状況、人口移動等に伴なう新設等についての基本的考え方、

(2)警察施設の整備に関し、超過負担の状況と解消策、

(3)少年非行に関し、非行の現況とたまり場の実態及び解消策、

(4)交通事故防止に関し、本道において死亡事故が多い理由、事故防止対策の内容、道交通安全協会と尚志学園との土地賃貸に係わる紛争のその後の経過、警察職員飲酒事故の原因と防止策等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、警ら部長、総務部長、防犯部長及び交通部長から答弁があって、午後零時22分休憩、午後1時38分再開。ついで、

山家　勇委員（社会）から、(1)こまり事相談に関し、相談処理件数と相談内容、処理のあり方

(2)ヘリコプターの配置に関し、配置目的と使用状況、道の要請による使用料徴収の有無、購入費等の国庫負担割合

(3)道警の補助団体に関し、防犯団体の活動状況と組織強化の方途、警友会の事業目的と内容、証紙販売業務と領収書発行の方法の当否等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、防犯部長、総務部長及び警務部長から答弁。

○5月17日（水）　午前11時3分、第1委員会室において開議、午後5時27分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○ **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、(1)道民生活目標に関し、目標と具体的施策との関連、ローリングシステム導入の考え、道発展計画との整合性

(2)消費者協会に関し、団体の性格、人事についての道の関与の有無、団体の商品テスト器材の整備に対する道の援助方

(3)交通事故防止に関し、交通信号機整備に係る予算が減少している理由

(4)公害防止に関し、悪臭防止の測定方法、道公害防止条例委任事務交付金の増枠

(5)自然保護に関し、恵庭岳復元工事の見通し、シカの生息調査の目的、他の動物についても調査する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時8分休憩、午後1時31分再開。ついで、

山家　勇委員（社会）から、(1)テレビの難視聴の解消に関し、実態把握の状況、地域別解消対策の内容、道の助成措置の拡充

(2)暴力追放運動団体に対する補助に関し、運動の進め方、補助金支出の方法に対する再検討

(3)物価問題に関し、物価調査員及び物価モニター設置の効果、北海道価格解消の努力

(4)道民生活白書に関し、道民生活の向上の状況、過密・過疎地域の格差解消、生活環境施設の整備の推進方策等について

川崎　守委員（共産）から、食糧費・交際費の支出に関し、食糧費と交際費の使途の区分、食糧費支出の内容と取り扱い要綱違背の有無及び妥当性、会合の内容と相手方の明示方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○5月18日（木）　午前11時3分、第1委員会室において開議、午後4時1分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　民生部所管に対する質疑に入り、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)授産施設に対する補助に関し、社会福祉事業法に基づく授産施設の補助及び事業法授産に対する経営現状と具体的改善措置の明確化

(2)保育所及び里親制度に関し、長期計画に基づく保育所整備計画、乳児・幼児要保育の措置状況と計画最終年度末の達成見通し、未達成の場合の理由と要因、地域別乳児保育需要の実態把握の必要性、保育所入所基準の改善策についての見解、里親制度の振興施策と道独自の打開策等について

(3)社会福祉長期計画のローリングシステム導入に関し、福祉を高める懇談会等の開催の有無、51年度の超過負担の解消状況と対処策

(4)老人生きがい対策に関し、民生行政推進の上での「生きがい」の意義についての見解、老人生きがい対策の51年度の位置づけ及び51年度から53年度までの対策予算の推移、今後の老人福祉対策の重点方向等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時15分休憩、午後1時45分再開。ついで、

熊谷　克治委員（社会）から、超過負担解消に関し、51年度において超過負担解消対策の方針、経過と成果の明示、民生部の超過負担解消の方針及び負担額増に対する見解、人件費の単価差・年度別対象差理由及び国庫委託事業の人件費等の法的見解、各市町村の社会福祉関係の施設、人件費の実態把握状況、超過負担解消基準の改善策の所信等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により、午後2時27分休憩、午後2時28分再開。ついで、

川崎　守委員（共産）から、交際費、食糧費支出区分と運用の妥当性、執行のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があり民生部所管に対する質疑を終結。

○5月19日（金）　午前11時34分、第1委員会室において開議、午後4時53分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　衛生部所管に対する質疑に入り、

高江　良男委員（社会）から、(1)薬業団体に対する補助に関し、補助目的、補助額の決定方法、団体ごとの補助額が異る理由、51年度の補助額減少の理由、補助金支出と行政効果

(2)医療行政に関し、医療体制の基本的な考え方、道立病院の経営実態と今後の取り組み姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時30分休憩、午後1時52分再開。ついで、

山家　勇委員（社会）から、(1)医療行政に関し、無医地区解消に対する取り組み姿勢、

保健婦・助産婦の充足状況、潜在看護婦対策、道立病院整備計画に対する所見、医師充足対策費補助金、道民健康教育センター整備費補助金支出にかかる効果

(2)公衆浴場に関し、経営悪化の現状と今後の対処方針

(3)保健所の整備に関し、今後の見通し、保健所長の欠員充足の見通し、食品衛生監視体制の充実等について

柳谷　正一委員（公明）から、(1)医療従事者に対する修学資金貸付制度に関し、制度の概況、51年度の決算状況、不用額が生じた理由、医師の修学資金の貸付条件とその実効性、制度の再検討の必要性

(2)産業廃棄物の処理に関し、廃棄物の処理体制の実態把握、不法投棄の実態、立入検査の状況、廃棄物の最終処分場の確保と具体的処理計画の策定等について

川崎　守委員（共産）から、(1)保健予防に関し、母子保健指標について年次別推移、妊婦等の健康診査の状況

(2)医療法人の決算に関し、道の決算審査体制、道南病院の経営について薬代等直接経費の割合、役員報酬の妥当性、看護婦の名義貸の事実の有無、実態調査の考え等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

○5月20日（土）　午前11時5分、第1委員会室において開議、午後1時4分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　労働部所管に対する質疑に入り、

岡本　栄太郎委員（社会）から、(1)雇用対策本部に関し、業務内容と体制、雇用拡大・安定の対応策について

(2)職業病に関し、事業所、市町村に対する指導内容、労働条件と職業病発生との関連、白ろう病対策研究と職場実態改善及び医療関係と連けいのもとでの対処策と指導について

(3)身体障害者の雇用に関し、身体障害者の雇用率未達成企業、大企業ほど低い理由及び法定雇用率の低い企業への働きかけ、納付金制度の納付金額の妥当性、障害者の職業訓練と雇用の拡大等について

渋谷　澄夫委員（社会）から、労働行政に関し、道民生活白書における雇用情勢等の分析と今後の労働行政の基本的な考え方、労働福祉対策の成果、労働教育の内容、労働会館等の建設要望と補助制度、道労働災害職業病研究対策センターの事業内容、道労働保健管理協会の職業病健康診断の結果、職業病センターの活動状況、労働環境実態調査の結果とその受けとめ方、雇用保険の不正受給の発生原因等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

○5月25日（木）　午前11時15分、第1委員会室において開議、午後4時49分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　商工観光部所管に対する質疑に入り、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)52年版経済白書に関し、景気停滞の時期に販売額が伸びている原因及び食料品関係の大幅伸び率について消費者に対する影響、大型店舗の進出に係わる小売業者に対する影響調査の結果

(2)成果説明書に関し、「野菜の日」「魚の日」「肉の日」の設定に対する市場への影響及び消費者に対する効果、流通合理化補助金の効果、道産品の販野拡大に係る冬野菜の確保及び販売についての保護政策並びに農務部との連携についての考え方、貯蔵野菜確保対策奨励事業に関する生産者への説明及び移入野菜の手数料についての見解、

(3)中小鉱山に関し、企業における探鉱費額及び道の補助金の増額についての考え方、各種鉱山の経営の実態

(4)金融機関の不祥事件に関し、道の指導のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

議事進行の都合により、午後零時31分休憩、午後1時42分再開。ついで、

高江　良男委員（社会）から、(1)企業倒産に関し、51年度における企業倒産の原因及び実態、全国との比較件数、企業倒産に対する道の対策、金融対策における効果及び融資制度における金融機関の審査のあり方、倒産に

係る新聞論評についての見解並びに道の企業倒産等に対する明確な分析調査についての考え方

(2)信用保証協会の損失保証金に関し、保証制度の運営の実態についての分析及び道の対処方についての見解、

(3)融資制度における金融機関に関し、取り扱い店の再検討、拓殖銀行に係る報道についての見解等について

岡本　栄太郎委員（社会）から、(1)経営改善指導員のあり方に関し、経営改善指導員及び補助員の採用の決め方並びに指導員に対する重点指導、指導員の質的改善及び巡回指導の確認、指導員の人事交流についての考え方

(2)道産品の貿易振興に関し、合板の輸出に係る現状及び道の対策

(3)商工会議所に関し、商工会議所の政治活動、商工政治連盟の組織及び経費の徴収方法並びに商工会と商工政治連盟とが末端において混同していることの見解について

川崎　守委員（共産）から、(1)白州の生産に関し、白州の開発及び用途、本州の専門家による指導及びその時期

(2)商工観光部に係る食糧費及び交際費に関し食糧費と交際費の区分についての考え方、産炭地振興と食糧費等の関連食糧費の支出に伴なう会議等の公表、支出の具体的内容等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

○5月26日（金）　午前11時、第1委員会室において開議、午後6時15分散会
委員長　池島　信吉（社会）

○　**住宅都市部所管に対する質疑**に入り、

熊谷　克治委員（社会）から、定期刊行物の購入に関し、購入基準、雑誌の購入部数についてアンバランスがある理由、購入部数算出の根拠等について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時43分休憩、午後1時14分再開。住宅都市部長から、休憩前の熊谷克治委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

熊谷　克治委員（社会）から、定期刊行物の購入について再検討の必要性、食糧費の支出について、支出命令書の摘要欄の記載方法等の改善について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があり、議事進行の都合により、午後1時33分休憩、午後3時16分再開。住宅都市部長から、休憩前の熊谷克治委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

熊谷　克治委員（社会）から、食糧費の支出命令書の記載方法の不統一と妥当性、支出負担行為決定書の提出の考え、提出できない理由等について

質疑及び要求があり、住宅都市部長から答弁。吉田英治委員（社会）から議事進行発言があって、午後3時33分休憩、午後6時1分再開。住宅都市部長から、休憩前の熊谷委員の質疑に対する補足答弁の後、

熊谷　克治委員（社会）から、食糧費の支出負担行為決定書の提出できない理由の明示等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○5月30日（火）　午後4時、第1委員会室において開議、午後4時1分散会
委員長　池島　信吉（社会）

○　去る26日の熊谷克治委員（社会）の措置要求の件について、理事会におけるその取り扱いについての調整になお時間を要するため、本日の議事は、この程度とすることに決定。

○5月31日（水）　午後4時47分、第1委員会室において開議、午後4時48分散会
委員長　池島　信吉（社会）

○　答弁調整のためなお時間を要するため、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○6月1日（木）　午後5時49分、第1委員会室において開議、午後5時52分散会
委員長　池島　信吉（社会）

①　総務部長から、さきの熊谷克治委員(社会)の質疑に関し発言。

②　審査日程の変更について、明2日を書面審査日とすることに決定。

○6月3日（土）　午前11時9分、第1委員会室

において開議、午後2時13分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　**住宅都市部所管に対する質疑**を続行、

渋谷　澄夫委員（**社会**）から、(1)公営住宅に関し、居住水準の改善に対する考え、狭小住宅の増改築、老朽住宅の建てかえの必要性

(2)営業車の借上状況、旅費の執行について特定の時期に集中している理由、旅行命令のあり方と具体的な内容明示への改善、公営住宅建設会総会等会議への出席人員と行政事務執行上の支障の有無等について

吉田　英治委員（**社会**）から、(1)建設工事に関し、工事発注について受注資格要件における中小企業者に対する配慮、代価表、歩掛表の作成理由と配布先、保管状況及び部外秘扱いの理由、外部に出まわっている実態と今後の取扱いについての検討方

(2)違反建築に関し、建築確認事務の遅延と改善方針、完了検査の不十分性、違反事実の早期発見、違反予防のための業者に対する行政指導等について

柳谷　正一委員（**公明**）から、(1)公営住宅建設に関し、第三期住宅建設計画の現在までの実績と今後の見通し、51年の道営住宅の応募状況と入居率の低い地域についてその原因立地条件についての判断の誤り、交通機関についての配慮、道営住宅の未入居の状況、公営住宅の建てかえ計画の検討状況、道営と市町村営住宅の建設戸数の割合

(2)道営住宅の管理に関し、管理の方式、管理委託の事務内容、委託料の算定基準、一般と福祉住宅との委託料が相違する理由、道営住宅の自転車置場及び駐車場設置の状況等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○6月6日（火）　午前11時17分、第1委員会室において開議、午後5時20分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　**土木部所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（**社会**）から、(1)事業の発注に関し、中小企業に対する配慮の内容、一般土木に係わるランク別・道内、道外の業者数及び発注状況、道内業者への優先発注の必要性、工事費前払の実態、道建設業信用保証会社の概要、下請業者への前払金の支払状況と是正方策

(2)道路整備に関し、市街地区の除排雪及び歩道の増設、照明の設置についての取組み姿勢等について

熊谷　克治委員（**社会**）から、(1)定期刊行物の購入に関し、購入決定基準、手続き、業界紙等の購入の必要性と再検討の考え

(2)道内の建設業団体の実態、団体と行政との協力関係、法人化に対する指導、建設業協会からの政治献金の妥当性についての見解等について

岡本　栄太郎委員（**社会**）から、(1)土木関係任意団体に関し、道の負担金と団体の活動内容、中央官庁等の職員に対する食糧費等の支出のあり方

(2)調査委託業務に関し、委託業務の種類、業者の指名方法、道開発コンサルタントＫＫの受注実績の多い理由、中小設計業者への受注機会の拡大についての考え

(3)工事発注と施工に関し、予定価格の意義と決定方法、予定価格と落札価格と近似している理由、入札の公正な実施についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。議事進行の都合により、午後3時56分休憩、午後4時5分再開し、引き続き、

川崎　守委員（**共産**）から、食糧費・交際費の支出に関し、食糧費・交際費の執行手続き、時間外における飲食を伴なう会合と時間外手当との関連、支出の基準金額と実際の執行状況、39年の通達との関係等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長及び同部次長から答弁。

○6月7日（水）　午後1時21分、第1委員会室において開議、午後1時22分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○　審査日程の変更について、明日8日を書面

審査日とし9日を各部所管審査とすることに決定。

○6月9日（金）　午後1時7分、第1委員会室において開議、午後2時44分散会
委員長　池島　信吉（社会）

① **土木部所管に対する質疑**を続行、

土木部長から、さる6日の委員会における川崎守委員（共産）の質疑に対する答弁中一部訂正の発言の後、

川崎　守委員（共産）から、食糧費の適正な執行方、釧路川水系アセツツリ川の河川改修に関し、今後の改修計画、河川敷地内の工作物に対する措置、境界を明確にする必要性等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁並びにさきの委員会における吉田英治委員（社会）の質疑に対する答弁中一部訂正の発言があって、土木部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後1時41分休憩、午後1時45分再開。

② **林務部所管に対する質疑**に入り、

高江　良男委員（社会）から、(1)治山事業に関し、51年以降の実績事業費、第4次5カ年計画の実施率及び第5次計画の考え方
(2)林道事業に関し、林道整備の立ち遅れと今後の促進策
(3)森林土木事業の発注に関し、中小業者に対する配慮、事業の拡大の必要性
(4)造林事業に関し、51年度の造林事業費の減額補正の理由、天然林改良事業の内容
(5)需要費の支出に関し、森林国営保険手帳の配布による効果、広報誌「林」の委託費と購入の関連、定期刊行物の購入部数の不均衡等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。

○6月10日（土）　午前11時2分、第1委員会室において開議、午後3時11分散会
委員長　池島　信吉（社会）

○ **林務部所管に対する質疑**を続行、

山家　勇委員（社会）から、道木材市場協同組合に関し、経営不振となった時期、道の行政指導の内容、道の監督体制のあり方と貸付目的違反の疑い、組合の経営不振による影響と今後の対策等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時19分休憩、午後1時36分再開し、引き続き、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)第二次道有林経営5カ年計画に関し、結果の概要、民有林造林の減少理由、間伐促進対策、森林組合の育成指導と補助率引き上げに対する考え
(2)林業労働災害に関し、災害発生の現状把握、振動障害の増加原因
(3)交際費の支出に関し、国の予算編成に係わる贈答品等の必要性と廃止の考え
(4)道内の優良広葉樹の輸出に関し、高次加工の必要性と輸出に関する基本的考え方及び輸出期限についての行政指導
(5)会議出席に係わる旅費の支出、会議内容、出席人員等について

質疑、意見及び要求があり、林務部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後2時32分休憩、午後2時38分再開。引き続き、

川崎　守委員（共産）から、大規模林業圏構想に関し、見直しの基本方針と内容、中核林道の箇所、計画実施のための手続き、議会の議決対象、林業労働者数についての見通し、過疎化防止効果の有無等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○7月28日（金）　午後9時38分、第1委員会室において開議、午後9時39分散会、委員長事故のため
副委員長　浅川　正敏（自民）

○　報告第1号について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○9月12日（火）　午後1時45分、第1委員会室において開議、午後1時47分散会
委員長　池島　信吉（社会）

①　今後の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

② さきに委員会に提出された資料について理事者から再提出の申出があった旨報告、異議なくこれを了承の後、総務部長から、提出資料中誤りがあり再提出することについて発言。

○9月21日（木）　午前11時9分、第1委員会室において開議、午後4時30分散会
委員長　池島　信吉（社会）

○　**水産部所管に対する質疑**に入り、

岡本　栄太郎委員（社会）から、(1)小型サケ・マス漁船の船体水増に関し、道の事前承知の有無、船体チエック体制のあり方、航行の安全と指導等の徹底、道漁業公社所属漁船のアメリカ領海浸犯に関し、事案の経緯、損害賠償額の当否と道の受けとめ方

(2)魚礁に関し、魚礁の構造、効果に対する見解、魚礁の投入場所等についての調査、研究について

(3)魚族資源に関し、シシヤモの資源枯渇の原因と対策

(4)魚価対策に関し、流通機構の改善と消費者対策等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時26分休憩、午後2時13分再開。ついで、

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)魚価対策等に関し、魚価上昇の要因と対策、〝魚離れ〟についての受けとめ方、領海200海里後の減船による離職者数、水産加工場の操短等による失業者数及び再就職等の対策、今後の見通し

(2)毒性ホタテに関し、従前の調査体制、発生原因と過密養殖との関連、漁場環境の保全についての基本的考え方

(3)漁業協同組合の運営に関し、経営の現状と欠損金の実態、漁協の不祥事件の原因、道の指導体制、組合合併強化策等について

吉田　英治委員（社会）から、領海200海里設定に伴なう漁獲量減少の推定と実績、漁業所得向上の見通し、沿岸漁場の開発可能水域、沿岸漁場開発事業の現況、天皇海山漁場開発事業の結果、試験調査船建造の取組み状況、漁船海難事故の発生状況、海難救助体制の充実、漁業取締船にロシヤ語通訳者を乗船させる必要性と今後の養成対策等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○9月22日（金）　午前11時54分、第1委員会室において開議、午後2時55分散会
委員長　池島　信吉（社会）

○　**水産部所管に対する質疑**を続行、

伊藤　武一委員（公明）から、水産物産地流通加工センター形成事業に関し、施設の利用状況についての把握内容、加工団地への加工場の移転に対する行政指導、事業計画に際し、将来見通しの不十分性、加工原魚の不足と韓国漁船の北海道近海における漁獲量、原魚確保についての取組み姿勢、施設の遊休化についての対応策、加工団地への移転に対する資金的援助対策、農林漁業金融公庫資金による救済の可否等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時48分休憩、午後2時12分再開。ついで、

川崎　守委員（共産）から、外国漁船の操業による漁業被害に関し、ソ連漁船による被害に係る損害賠償処理委員会への送付の状況今後の見通し、領海内における韓国漁船の操業による被害件数、見舞金による一括処理方式となった理由、韓国側との交渉内容等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁がって、水産部所管に対する質疑を終結。

○10月21日（土）　午後6時20分、第1委員会室において開議、午後6時22分散会
委員長　池島　信吉（社会）

① 委員長から、水沼徳一郎委員（自民）の辞任に伴ない古川　靖晃委員（自民）が補充選任された旨を報告。

② 委員長から、議席について配付の議席表のとおりとすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

③ 委員長から、報告第1号（昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算等に関する件）について

閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

④　今後の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

○10月27日（金）　午前11時20分、第1委員会室において開議、午後5時7分散会

委員長　池島　信吉（社会）

①　**開発調整部所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、(1)総合経済研究所に関し、設置時期、目的、機構、業務内容、職員の配置状況、研究テーマの重点項目、研究費等の予算減額の当否、今後の予算上の配慮等について

(2)青少年科学館に関し、発展計画における青少年科学館の目的についての見解、科学館の建設予定設置場所、時期、内容、機能及び事業主体の明確化、中央青少年科学館設立に際し都市機能分散等均衡のとれた地域発展に対する考え方について

(3)研究学園都市建設に関し、学園都市建設予定地の条件、人口予想規模の見解、学園都市建設不可能の場合など情勢変化に伴ない計画変更の考え方の有無等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時14分休憩、午後2時18分再開。ついで、

熊谷　克治委員（社会）から、(1)地方行政連絡会議に関し、会議の目的及び51年度の運営状況、国への要望内容と結果、要望事項の選択のあり方等について

(2)科学研究の補助に関し、補助制度の趣旨と発足の時期、補助金額の妥当性、今後の増額の考え方、補助対象研究選定のあり方、民間の研究に対する配慮の必要性及び制度の周知方等について

(3)北方圏交流に関し、北方圏交流調査推進費の内容、推進委員会の性格及び法的根拠、条例、規則で設置する考え、推進委員会の構成の基本的考え方、北方圏の範囲等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び次長から答弁があり、議事進行の都合により、午後3時56分休憩、午後4時1分再開し、開発調整部長から、休憩前の熊谷克治委員の質疑に対する補足答弁の後、

熊谷　克治委員（社会）から、北方圏範囲の明確化等について、意見及び要望。ついで、

川崎　守委員（共産）から、(1)食糧費及び交際費の支出に関し、食糧費及び交際費の支出区分と基準、食糧費の支出のあり方

(2)旅費の支出に関し、旅費の効率的な執行について検討の必要性

(3)自衛隊の演習による被害に関し、自衛隊の演習による農・漁業被害の実態、矢臼別演習場における乳牛被害に対する対処策、協定が守られていないことに対する見解及び措置等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び次長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。

②　委員会の今後の日程についてはかり、異議なく配布の日程表のとおりとすることに決定。

○10月31日（火）　午前11時16分、第1委員会室において開議、午後2時59分散会

委員長　池島　信吉（社会）

①　委員長から、審査日程について配付の日程表により行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。

②　**農地開発部所管に対する質疑**に入り、

岡本　栄太郎委員（社会）から、51年度の農地開発行政の結果についての判断、開拓財産の取得及び実績、今後の処分の推進方策、畑作後推進地域の道費上置補助の打ち切りの理由とその妥当性、地元負担の軽減方針とのそご、定期刊行物購入についての基本的考え方、購入手続きの当否、購入部数の決定方法、購入のあり方について再検討方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時42分休憩、午後2時27分再開。ついで、

吉田　英治委員（社会）から、小規模用地整備事業に関し、事業の概要、要望と採択の状況と特認事業の要件と弾力的運用の必要性、南長沼土地改良区に係わる水利権問題についてのその後の経過、千歳基地内の用水路工事の内容、事業費、受益面積と受益戸数等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。
議事進行の都合により、午後2時51分休憩、午後2時58分再開し、直ちに散会。

○11月1日（水）　午前11時6分、第1委員会室において開議、午後4時20分散会
委員長　池島　信吉（社会）

① **農地開発部所管に対する質疑**を続行、
農地開発部長から、昨日の吉田英治委員（社会）の質問に対する補足答弁の後、
吉田　英治委員（社会）から、(1)千歳キャンプ地区内の用水路工事に関し、工事区管ごとの事業内容及び終点整備の状況並びに工事の難易度
(2)監督補助制度に関し、監督補助制度の必要性と農地開発部所管の事業にのみ制度化されている理由、補助監督委託費の内訳と制度の見直し
(3)各種審議会及び団体に関し、財団法人農業近代化コンサルタントの発注に係る随意契約についての見解
(4)庁中経費に関し、その性質と仕組み並びに各部配当額についての見解等について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。
議事進行の都合により、午後零時6分休憩、午後1時28分再開。ついで、
山家　勇委員（社会）から、上川支庁耕地部の問題に関し、富良野平原地区広域営農団地農道整備事業に係る実施計画と発注状況、請負業者が指名停止処分を受けた原因及び年度とその内容並びに法的規制、指名停止期間と解除後直ちに指名を受けたことについての考え方、52年度の第3工区工事についての発注の内容及び工事過程並びに遅延理由と違約金の算定、その2工事に係る契約と工事の経過、51年度道営圃場整備事業富良野第1地区における完成年月日と違約金に係る行政のあり方について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後2時37分休憩、午後2時44分再開。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、
渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)社会教育主事に関し、51年度における人数の推移及び未配置の教育委員会数とその理由、派遣期間と今後の増員計画
(2)障害児の教育問題に関し、障害児の数が増加傾向にある原因、就学猶予及び免除者の実態把握ないし追跡調査についての見解、言語障害児及び情緒障害児が都市部に多い原因、特殊学校における父兄負担の実態と軽減解消に対する見解及び予算配分等に対する配慮
(3)僻地級指定に関し、指定基準の見直しと過疎地域の不均衡の是正についての見解
(4)教職員の福利厚生に関し、成人病による治療期間と長期療養者の現職復帰に対する教育委員会の考え方等について
吉田　英治委員（社会）から、(1)スポーツ振興に関し、野外活動施設補助事業について市町村に対する周知の要請方
(2)各種審議会及び委員会に関し、委員名、設置する法的根拠、各委員の報酬等び51年度に開催された月日等についての資料提出方
(3)寄宿制度に関し、特殊学校に寄宿舎を設置しないことができる「特別の事情」及び寮母の設置基準についての考え方、寮母の資格要件と生活指導のあり方、寄宿舎の定員に満たない理由と体験入舎についての考え方
(4)美唄養護学校の問題に関し、児童の死亡事故に係る寮母の配置基準と管理体制、養護学校の設置場所と地元医療機関との関連、養護教育の義務化と施設の適正配置等について
質疑、意見及び要求があり、教育長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。

○11月6日（火）　午前11時41分、第1委員会室において開議、午後6時42分散会
委員長　池島　信吉（社会）

① **農務部所管に対する質疑**に入り、
渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)農村花嫁対策事業に関し、事業内容、推進員の報酬等について
(2)農作業における事故に関し、事故件数、農作業安全緊急特別対策事業の基本的考え方、事業の内容、安全な農業機械の開発についての取り組み方

(3)草地開発に関し、基本調査の内容と成果、牧草の試験、研究の状況、転作作物として牧草をとりあげることの当否、家畜のふん尿による土づくりの推進

(4)試験研究に関し、水稲、麦類、豆類、てん菜の試験研究の内容と成果

(5)飼料穀物の備蓄に関し、備蓄作物、備蓄方法

(6)中核の酪農家の育成事業に関し、事業内容と地域住民の意見の反映方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時55分休憩、午後2時57分再開。ついで、

吉田　英治委員（社会）から、(1)冷害対策に関し、最近の異常気象と道の判断内容、冷害の恒久対策、試験研究の内容、農産物の自給体制の強化策等について

(2)農薬に関し、農薬の空びん、空袋の処理状況と処理施設の増設、残畜農薬についての対処策、農薬による事故の防止策

(3)農作業における事故に関し、欠陥農機具の判定基準及び通報体制の有無、農協の農機具の販売方法のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

② 副委員長から、熊谷克治委員（社会）から質疑通告の取り下げがあった旨を報告。

③ 農務部所管に対する質疑を続行、

岡本　栄太郎委員（社会）から、(1)農地問題に関し、農地行政の基本的な考え方、農地法違反の実態把握と原因、岩見沢市における違反事例の受けとめ方、違反事案に対する追認措置のあり方

(2)農村花嫁対策事業に関し、補助金支出についての考え方、事業内容と成果、中央推進委員の活動費の増額の必要性

(3)乳牛の検定事業に関し、業務内容、検定員の待遇、事業の規模拡大についての考え方

(4)優良乳用種雄牛の選抜事業に関し、農業開発公社に委託した理由、道が直接事業実施する考え

(5)エリモの肉牛牧場に関し、運営の現況と管理業務を農業開発公社に委託した理由、今後の運営のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により、午後5時6分休憩、午後5時12分再開。ついで、

川崎　守委員（共産）から、(1)道営競馬に関し、競馬開催に伴なう出張の業務内容と出張命令の妥当性、旅費規定適用のあり方、門別町のトレーニングセンター建設計画の内容と将来見通し、関係者への周知方等について

(2)食糧費、交際費の支出に関し、支出にあたっての基本的考え方、食糧費及び交際費の支出範囲と区分の基準等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

○11月15日（水）　午後2時1分、第1委員会室において開議、午後4時23分散会

委員長　池島　信吉（社会）

① 委員長から、11月29日、30日の両日を書面審査日とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

② **人事委員会所管に対する質疑**に入り、

渋谷　澄夫委員（社会）から、10．26休暇闘争にかかわる行政処分に関し、審査請求に対する裁決内容と法的根拠、休暇闘争の要求内容とこれに対する受けとめ方、教職員の職務専念義務の免除の係わる慣行に対する見解、厚岸事案の裁決について、教職員の自主研修に対する見解及び実態把握の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、人事委員長から答弁があって、人事委員会所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後2時48分休憩、午後2時51分再開。

③ **出納局所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、(1)財政援助団体等に関し、補助金を支出している団体数と総補助額、十分な実態把握の必要性、会計検査院の実地検査の状況及び道職員の事務打ち合わせのための出張のあり方

(2)物品の管理に関し、庁用共通物品の取扱い、消耗品購入の状況と妥当性等について

質疑、意見及び要望があり、出納長及び副出納長から答弁があって、出納局所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時39分休憩、午後3時45分再開

④ **監査委員所管に対する質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、不用額の受けとめ方及び審査意見、補助金支出に対する監査結果、事務・事業量、予算計画、組織間の連絡協調について適切な行政執行の有無、不要不急な支出の有無、食糧費、交際費に係わる監査結果、予算の執行を他の部が行なうことの当否と今後の改善について指導方、消耗品等の年度末一括購入の妥当性、補助事業の事務費執行のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、代表監査委員から答弁があって、監査委員所管に対する質疑を終結。

○11月16日（木）　午前11時33分、第1委員会室において開議、午後5時7分散会

委員長　池島　信吉（社会）

① **総務部所管に対する質疑**に入り、

総務部長から、去る5月26日、住宅都市部所管における熊谷克治委員（社会）の食糧費に関する措置要求に対して答弁後、引き続き、

熊谷　克治委員（社会）から、(1)食糧費、交際費の取扱いに関し、食糧費、交際費の性格・内容仕訳状況及び支出基準に対する見解、支出伝票の適正な記載要領の検討方について

(2)私的諮問機関に関し、知事の私的諮問機関についての概念の明示、付属機関として条例で設置する必要性及び見解、各種機関に対する報酬・報償費等の適切な運用、支出執行のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び代表監査委員から答弁の後、議事進行の都合により、午後零時34分休憩、午後1時58分再開。ついで、

② 委員長から、伊藤武一委員（公明）の総務部所管に対する質疑の取下げがあった旨を報告。ついで、

吉田　英治委員（社会）から、道財政に関し、51年度主要施策成果説明書の記載中、辺地振興対策費の外れた理由及び今後の考え方、普通交付税の算定において基準財政需要額など投資的経費を減額した理由と補完措置及び道債の歳入に占める割合の明確化、国への要請など抜本的な財政対策、今後の道財政の見通し、公社、公団等への元道職員再就職状況、一般職員の再就職の場開発の必要性及び対処策等について

渋谷　澄夫委員（社会）から、(1)広報、広聴事務に関し、51年度における広報・広聴活動状況及び具体的な重点施策内容の明確化、広報業務における各部との連けいと調整の考え、活動業務予算のあり方、支庁の維持運営費の内容と広告料に対する考え方

(2)支庁及び出先機関における予算執行に関し、予算配分方法の基本的な考え方及び「決算資料」提出後の修正に対する見解、年度末に集中する予算執行のあり方及び備品購入の基準管理状況の明示方、時間外勤務手当の予算配当に対する基本的考え方、効率的な執行体制等について

川崎　守委員（共産）から、(1)私学対策に関し、函館の有斗高校における定員超過状況の受けとめ方、校舎増改築の現状と間口増との関連等

(2)機関委任事務に係わる超過負担に関し、国の機関委任事務における道の超過負担に対する見解及び超過負担解消についての調査のあり方等について

(3)食糧費、交際費の執行に関し、食糧費と交際費の性格、目的による明確な区分の必要性、支出執行経過と今後の適正な改善策等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって総務部所管に対する質疑を終結。

○12月1日（金）　午後1時33分、第1委員会室において開議、午後3時41分散会

委員長　池島　信吉（社会）

○ **知事に対する総括質疑**に入り、

吉田　英治委員（社会）から、研究学園都市の建設に関し、建設場所、人口規模、誘致の可能性、同一都市に芸術大学、放送大学等の設置の考え、研究学園都市についての国の意向、発展計画における大学設置について構想及び設置主体、寒地研究所等の設置について国に要請する考え、高等教育機関設置のブロック別個所づけ、道内大学への進学率・学科別進学希望調査実施の考え等について

熊谷　克治委員（社会）から、(1)知事の私

的諮問機関に関し、私的諮問機関の性格と行政効果、条例・規則に基づく機関とする考え、構成員に対する報酬等の支出のあり方等について

(2)食糧費等の支出に関し、交際費との区別と執行基準額及び執行状況、具体的な執行内容を公表しない理由等について

川崎　守委員（**共産**）から、食糧費及び交際費の支出に関し、予算執行にあたっての基本的な考え方、食糧費と交際費の区別及び具体的な執行状況、執行内容を公表する必要性等について

質疑、意見及び要望があって、知事から答弁があり、知事に対する総括質疑を終結。

○12月2日（土）　午前11時8分、第1委員会室において開議、午前11時10分閉会

委員長　池島　信吉（社会）

① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、報告第1号について意見の一致をみるに至らなかった旨を報告の後、

報告第1号（**昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件**）を議題とし、討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立多数（共産反対）をもって意見を付し認定議決と決定（付帯意見は委員長報告参照）。委員長報告については、委員長に一任することとした。

② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

資　料

第４回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件　　名	議決月日	公布月日	公　布　番　号
北海道教育施設整備基金条例	12．23	12．26	北海道条例第44号
職員団体の登録に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第45号
北海道議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第46号
北海道立社会福祉総合センター条例	同	同	北海道条例第47号
北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第48号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第49号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第50号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第51号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第52号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第53号
北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第54号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第55号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第56号
北海道議会議員定数特例条例	12．24	同	北海道条例第57号

12 月 の メ モ

1 ○閣議、53年度の運輸経済年次報告「運輸白書」を了承。「公共輸送機関の健全な発展」を強調。

○文部省、今春の高校進学率を発表。全国平均で93.5%と伸び率は鈍化、本道は都道府県別順位43位で90.2%。

○臨時自民党大会、大平正芳幹事長を投票抜きの満場一致で第9代総裁に選出。次の首相候補に指名。

4 ○道、第2期社会福祉長期計画案（53～57年度）を公表。老人福祉、心身障害者対策、児童、母子家庭対策、民間活動の推進の4つの柱。

5 ○欧州共同体（EC）9ケ国首脳会議、欧州通貨制度（EMS）の設立を、英、伊などを除き54年1月発足を決定。

○オレンジ・牛肉をめぐる日米農産物交渉、急転決着、米国はオレンジで譲歩、自由化は4年後再協議。

○厚生省、投薬証明のないスモン患者（約6千人）も和解による救済の対象とすることを決定。

○釧路管内、鶴居中学校ほぼ全焼。

6 ○イランの首都テヘランで100万人を超す反バーレビ デモ。バーレビ国王バクチアル氏を次期文民内閣首相に任命。

○宗谷岬沖で、稚内市の沖合底引船第3大輝丸（124トン）転覆、1人死亡残る9人も絶望。

7 ○大平内閣発足。外務大臣・園田直氏再任、道開発庁長官・渋谷直蔵氏など。自民党3役は幹事長・斎藤邦吉氏、総務会長・倉吉忠雄氏、政調会長・河本敏夫氏。

8 **○第4回定例道議会開会。**

○釧路市内の幼稚園児インフルエンザ予防接種後死亡。12年ぶりの接種事故。

11 ○沖縄県知事に主席公選以来初めて保守の西銘順治氏が当選。

○道、小型サケ・マス漁船の25%減船措置を発表。許可トン数は現行の倍となるが、「以東船」364隻のうち91隻、「以西船」232隻のうち58隻が減船対象となり、来春のサケ・マス漁から適用。

12 ○道議会塚本肇副議長辞任、後任に新村源雄氏を選出。

○第86臨時国会閉幕。

13 ○札幌地裁、幼児の学校用地貯水そう転落事故での損害賠償請求訴訟で「道と美唄市に設置管理上のミスがあった」として1,412万円を支払うよう判決。

15 ○「日ソ」「ソ日」漁業両暫定協定再延長交渉妥結、漁獲割当量は75万トン、（本年85万トン）道東沖のオッター禁止線内ソ連の棒受け網漁を受け入れなど日本大幅譲歩。

○名古屋地域、公労法第17条第1項の憲法解釈をめぐり注目の44年春闘参加懲戒処分無効請求訴訟で「公社職員の争議権の禁止は合理性がある」と請求棄却。

○米証券取引委員会（SEC）、米国最大の航空機製造会社マグダネル・ダグラス社を外国に対する不正支払容疑で告発。

○東京・中野区議会「区長は教育委員の選定にあたってはまず区民投票を実施し、その結果を尊重しなければならない」とする、いわゆる教育委員準公選条例を可決。本件区長拒否で再議に付されたが、26日の本会議で再度可決。区長は地方自治法第176条第5項の規定により都知事に審査の申し立を行なうと表明。

○米、中両国来年1月1日に国交樹立を発表、同日以降、米台断交、米台相互防衛条約の破棄、4月末までに在台米軍の撤退を米政府発表。

17 ○石油輸出機構（OPEC）、原油価格を明年4回、年平均で10%引上げを発表。まず1月に5%、4月に3.8%、7月に2.294%、10月に2.691%で4回目の10月には、14.5%の引上げ率となる。

18 ○大平首相、公邸玄関前で登山ナイフを手にした国士館大学生に襲われたが無事。

22 ○第87通常国会召集、会期は来年5月20日まで150日間。

○農林水産省、水・陸稲の最終収穫量を1,258万9千トンと発表。10アール当り収量は史上最高の全国499kg、本道は536kg、作況指数は全国180、本道は118。

○韓国法務省、朴大統領の第9代就任に金大中氏を釈放（特赦）する旨発表。金芝河氏は無期から20年に減刑。金大中氏2年9ケ月ぶりに自宅に戻った。（27日）

23　○釧路管内音別中学校がほぼ全焼。

24　**○第4回定例道議会閉会。**

25　○道、「環境アセスメント条例」の1月18日施行に備え、「環境影響評価の技術的方法等の一般的な指針」を発表。

26　○北電知内火力発電所（出力70万KW）の公害防止協定、北電社長と地元3町長との間で調印。

27　○政府、電源開発調整審議会を開催、北電・知内火発など6発電所の着工を決定。

○苫東連絡協（開発庁・道・苫小牧市・苫東開発会社など関連9機関で構成）、苫東石油共同備蓄基地建設計画を協議、57項目の配慮事項を付して同意を決定。

28　○政府、臨時閣議で「54年度経済見通しと経済運営の基本的態度」と「予算編成方針」を決定。来年度国民総生産232兆円前後と実質成長率6.3％にとどまる見通し。

○政府、消費者米価を来年2月1日から平均4.2％引上げ、麦価は据置くことを正式決定。

31　○道の医療拡大策、来年1月1日からスタート。乳幼児医療費入院無料化一挙5歳まで、15歳以下の母子家庭の子供は入院費を加え通院費、母親は入院費をそれぞれ無料化。

北海道議会時報　第31巻第1号　編集　北海道議会事務局調査課
昭和54年1月20日発行　昭和54年1月　発行　北海道議会事務局

北 海 道 議 会 時 報　第31巻第 1 号　編 集　北海道議会事務局調査課
昭和54年 1 月20日発行　昭和54年 1 月　発 行　北 海 道 議 会 事 務 局

北海道議会時報第３１巻第１号(昭和５３年第４回定例道議会)